

勝山小学校区 保護者・地域説明会【議事要旨】

1 日時

令和5年6月30日（金）19時30分～23時20分

2 場所

勝山小学校講堂

WEB ライブ配信

3 参加者

42名（保護者18名、地域24名）

WEB 配信視聴者 最大65名（平均20名）

4 出席者

○ 区役所

筋原 章博 生野区長／生野区担当教育次長

小原 聡 生野区副区長／生野区教育担当部長

大川 博史 生野区役所企画総務課長

中條 勝統 生野区役所地域活性化担当課長兼生野区教育担当課長

川楠 政宏 生野区役所まちづくり推進担当課長

松村 淳 生野区役所安心まちづくり担当課長

竹中 一郎 生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育政策課生野区教育担当課長代理

坂元 智成 生野区役所地域まちづくり課まちづくり推進担当課長代理

藤井 啓太 生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育政策課担当係長

白石 秀一 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員

角野 真希 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員

○ 勝山小学校

南 明義 勝山小学校長

中川 孝治 勝山小学校教頭

5 配布資料

- ・配布資料 学校再編整備計画案について（生野区役所）

6 説明会の概要

- （1）区役所からの説明

- ・資料に沿って説明。

(2) 主な質疑等の概要

(保護者1)

まず、この資料拝見させていただいて率直に思ったのが、これ学校を残す方と廃校にされる方と、雲泥の差ですよ。何も残らないですよ、こっちは。7ページ映してもらえますか。勝山小学校と東桃とね、児童数あるんですけども、勝山の児童確かに少ないですよ。でもね、これこんなに減ったのはあなた方が平成28年に廃校するって言い出してから余計顕著になったんじゃないですか。

つまり、東桃と勝山を比較するにしても、勝山は同じ土俵に上げてもらえてないんですよ。

それから、連合会長をはじめ、地域の皆さんが反対していただいた。それから、コロナがありましたのでストップしてたんやと思うんですけども。

11ページ映してもらえますか。これ未就学児、0歳から5歳まで、これ1月から12月ですか。それとも4月から3月かどっちでしょうか。

(区役所1)

4月から3月の年度です。

(保護者1)

4月から3月、年度。そうしたら、これ5月までの数字ですよ。0歳児27名ていますけど、そうしたらたった2か月でこんだけいるんですか。そうじゃないでしょう。

ただ、これ5月までの数字やったら、少なくとも倍はいますよね。そうでしょう。そうしたら、この表では215名てなってますけれども、恐らく250名ぐらいの規模になると思うんですよ。それで今の在校生のところの数少ないですけども、これ平成28年の勝山を廃校すると言われた時期、これ8年前ですよ。平成30年で今は令和5年ですから。ちょうど在校生の世代になるんですよ。それから未就学児増えてますよね。

大阪市の統廃合の指針ってあるじゃないですか。ここでいうところの、恐らく今後11学級以下だと見込まれる学校というのが東桃とか勝山も両方入ると思うんですけど、国の基準はね、1クラス35名じゃないですか。そうしたらもう十分クリアできるでしょう、勝山単独でも。それで、にもかかわらず今統廃合を何でやらなくちゃいけないんですか。実際、在校生でも恐らく3年生以降は統廃合の対象になると思うんですけども、重要なのはこれから入学を控えている未就学児の数でしょう。何かもうずっと勝山を廃校するとちらつかせておいて、勝山が弱ったところで廃校というのはちょっとおかしいというか、ちょっと言い方悪いですけど自作自演の猿芝居じゃないですか。

つまり、今は未就学児が増えている状況なので、今後11学級以下だと見込まれるのではなくて、今を逃すと統廃合できなくなることが見込まれるという意味に私は受け取りました。

それから7ページ映してもらえますか。将来を約束された東桃谷はどうなのかって。言うほど変わりませんよね。これは勝山と東桃谷の統廃合の話やと思うんですけど、じゃあね、東桃谷のほうは未就学児どれぐらいいるんでしょうか。1月にも勝山の保護者向けに説明会されてましたけど、ここでも記載されてませんでしたね。仮にね、勝山と同じかそれ以上だというのであれば、東桃谷と勝山がもともと統廃合する必要もないです。さらにね、こっちのほうの問題やと思うんですけど、東桃のほうはひょっとしたら少ないんじゃないですか。どうでしょう。

(区役所1)

ありがとうございます。幾つか御質問あったかと思えます。

まず、平成28年に生野区がこの西部地域の学校再編整備計画というのを出して、そこから減り出したんじゃないかというのが、最初の御質問だったかと思えます。

今現在、今年度170人弱ですけども、200人前後というのが資料の中で、今前に映しておりますけども、ここで一番古いところ平成25年、216人と出しております。遡りますと、例えば、平成20年210人で、210人前後がずっと続いております。もう少し遡りますと平成10年は300人いてました。なので、ずっと減ってきているのは事実です。

ただ、ここ数年、さきほど平成28年からという御意見いただきました。そういった話もこれまでいただいたことはありますけども、200人前後で続いているというのはもう少し前からというのが、これが実情です。

未就学児の関係ですけども、今時点、細かくいつからいつまでというのは今持ち合わせていないんですけども、この資料の未就学児、11ページの未就学児、これ0歳児27人となっております。これ今現在、今年の5月で調べますと、この27人が1歳になって20人となっております。ちなみに、今年の0歳児は33人という状況になってまして、非常に毎年人数に差は出てます。ただ、30人前後で推移してて、確かに40人ぐらいいてるという年代はありますけども、常に2クラス、今35人学級制というのもおっしゃっていただきましたけども、常に35人を超える、要は2クラスが維持できる状況かというところではないといったのが、これも今の現状です。

続きまして、教育委員会の指針のこともおっしゃっていただきましたけども、これから入学するお子さん、その数を見てじゃないかといった御意見。これももったもな御意見です。

先ほど、この統合後で行きますと令和10年までの見込みになっておりますけども、今現在0歳、今現在存在する未就学児のお子さんの人数を見た上で、将来的な推計とい

うのを出してます。その推計、おっしゃっていただいたとおり教育委員会のほうで決まっていますのは、教育委員会というか条例で決まっていますのは、適正規模を下回る学校は統合しないといけない。統合、もしくは校区を変えて適正規模にしないといけないというのが条例で決まっています。適正規模っていうのは12学級以上です。6学年で。11学級以下は小規模校という形でいわれるんですけども、それはある時点、今時点の学級数だけで判断しているのではなくて、今現在存在する未就学児、0歳児以上のお子さんを見て、将来6年間ですね、将来まで見た上で今現在11学級以下で将来的にも各学年2クラスが維持できないという形ですので、10年先、20年先まで見てるわけではないんですけども、今現実にある状況をベースに小規模校という形で条例の適応対象になってくるということです。

あと東桃谷の校区の未就学児の状況。こちらにつきましても年によって、この勝山と同じように年によって違います。ただ、大体勝山と同じように毎年30人前後の未就学児がいらっしゃるといのが現状となっております。ちょっと足りない部分があれば、またおっしゃっていただけたらと思います。

(保護者1)

はい。ということはね、1月に保護者向けの説明会やられた中では、そういう未就学児の説明はなかったわけですね。そうすると、最初からね、勝山が少ないから東桃に統合って筋書きで話されてましたけども、あとどこで校区を割りますかっていうアンケートもされてましたよね。でも、それ以前の話ですね。まず東桃谷、それやったら勝山を残して東桃谷潰したらええやんていう話になりかねませんか。何かその話を何かうやむやに潰してますよね。

残す学校と潰される学校と雲泥の差なんですよ。児童はね、潰される方の地域は重たい荷物を毎日背負って遠くのところに行かされて、地域は分断され、避難場所もね、この先分からへんですね。これね、検討が足りないんじゃないですか。説明も足りないですし、こんなん残す学校と廃校される学校と地域格差があり過ぎますよね。バランス考えてもらわな、これ勝山としてはどうしようもないでしょう。これは要望させていただきます。回答お願いします。また今日でなくても結構ですので回答お願いします。

(区役所1)

ありがとうございます。今おっしゃっている御不安な気持ち、ごもつともだと思えます。特にその地域、地域活動の拠点は小学校になってます。ですので、学校の跡地に関しては残すと。通常、大阪市はこれまでこの小規模な学校統廃合たくさんいろんなところでありますけども、統廃合によって閉校した、要は閉じた学校の跡地は売却というのが基本になってました。

ただ、この生野区の場合、皆さん御承知のことかと思えます。密集住宅市街地というこ

とで、非常に災害に対してしっかり備える必要がある。そういったことから生野区については統廃合によって閉校した学校の跡地を残していいというのが、これが大阪市の中で最初に認められまして、この話を進めてきたというのがあります。

あと、一番の当事者であります児童、保護者ですね。当然今ある学校から場所が変わると登下校の負担が増えるといったことがございます。細かく言うと近くなる方ももちろんいらっしゃいますけども、当然多分に遠くなる方のほうが多いかと思えます。

ただ、そこに関しましては、これ行政的な説明で申し訳ないんですけども、大阪市内で決められてます基準、小学生の登校距離2キロ以内ということで決められております。ですので、その基準だけで行くと、2キロ以内であれば統廃合問題なくやらないといけないということになるんですけども、ただ、これまで意見たくさん頂戴してまいりました。子どもたちやっばり遠いのかわいそうじゃないか、しんどいんじゃないかといったことがあって校区を分けるという話を、まず検討してきたということ。それとあと学校なくなるという話ですね。これは1対1の統合という場合、どちらかが必ず閉校するということになります。間にいい場所があれば新たに学校を造るというようなことも可能かもしれないですけども、現実的ではないです。

学校をそうしたら残す場合にどちらを残すかということ。最初のほう説明かなり早くしゃべりましたので分かりにくかったかもしれないです。

まず、大阪市教育委員会で決めてますのが、統合する場合は人数多いほうの学校に統合するというのが基本的な考え方としてあります。ただ、それだけではなくて、学校の施設の状況、そういったことも勘案しないとイケない。

それはどういったことかといいますと、あんまりそういう事例はないんですけども、この二つ学校がある場合に、片一方が人数多いけども非常に小さい狭い敷地で、少ないほうが広い、十分に校舎にも余裕がある。そういったような場合は、そういったことも勘案するということは可能性としてはあります。

ただ、ここ東桃谷小学校と勝山小学校で申し上げますと、児童数は東桃谷小学校が多いという、基本的な指針に基づく考え方のほかに、あとは学校の施設の状況がございまず。これ先ほど跡地活用のほうでも御説明申し上げましたけども、校舎が非常に古いといった課題もあります。そうしたら今の古い校舎を建て替えてこちらを残すのか、もしくは今の東桃谷小学校の校舎そのまま活用できますので、そのままやるか。そういった財政的な観点というのも、もちろんこれ大阪市、生野区役所、行政ですのでそういったことも考慮しないとイケません。

ですので、まず児童数が多いところで、後のことももちろん検討しまして、総合的に東桃谷小学校の場所を使うというのが一番合理的なんじゃないかと。ただ、登下校遠くなるお子さん、こちらに関してはしっかりと安全対策、これ我々区役所が実際に何かできるかという、そういうわけではないですけども、先ほど申し上げました道路管理者、大阪市建設局ですとか生野警察、そういったところとしっかり連携して子どもたち、登下

校安全をしっかり守っていくと。そういったことをやっていかないといけないというふうに考えているところです。

(保護者2)

今日は説明会開いていただいてありがとうございます。

皆さん質問いっぱいされたいかなと思うので、手短かに3点お聞きしたいことがありますので、要点を絞って3点お答えいただけたらと思います。

まず一つは、以前1月の説明会にも参加させていただいたときに、全体のスケジュールとして令和8年度の4月に合併というスケジュールで考えられてて、そのときのお話では、今回のこの説明会を令和5年2月末に行うとおっしゃってたと思うんですけども、4か月遅れた理由についてまずお聞きしたいのと、その4か月遅れたことに対して合併が変わらないことについて、その4か月をどこで賄おうとしているのか。あとの検討の日数が少なくなることを心配していますので、その点をお応えいただきたいのが、まず一つ。

もう一つが、勝山小学校の建物としての寿命について、鉄筋コンクリート造で60年ということなので、確かに一般的には鉄筋コンクリートの寿命かなとは思いますが、60年を超えて使用するときの方法であったり、他校の例についてリサーチされておれば、その内容をお聞きしたいかなと思います。60年を超えて使う可能性があるのかということをお伺いしたいです。

最後に、交通の安全について、合併後の交通安全について、これからの検討ということだとは思いますが、今の時点で他校の例としてどのような安全管理にこれまでなってきたのかということをお教えいただきたいと思います。

以上、3点お願いいたします。

(区役所1)

ありがとうございます。

まず、スケジュールの点ですね。1月27日に説明会させていただいたときには、今おっしゃっていただいたように2月か、遅くても3月にはこういった説明会をさせていただく予定ですという説明申し上げました。

ただ、ここまで遅れましたのが、そのときたくさん意見いただきました、もっとちゃんと全員に意見を聞くべきじゃないかということでアンケートを取らせていただいたということ。それがまず一番、このずれ込んだ大きな原因にはなっていないと思います。

ただ、あとその上でいただいた意見で特例を設けると。要は、校区を分けるけどもその子どもたち、やっぱり校区を分けたとしてもみんなと一緒に東桃谷に行きたいんじゃないかといったこと、たくさん意見頂戴しましたので、その特例を設けるために教育委員会との調整をこの間行ってまいりましたので、そういったことでずれ込んだというか今

になったというところです。

あと、これによって開校時期に向けた準備が、ひずみが出るのじゃないかという趣旨かと思います。

これにつきましては、今回の令和8年4月の再編という自体が最短のスケジュールというわけではございませんでして、校区を分けるというのを検討しようということで、しっかり意見を聞いて準備を進めていくということで、スケジュールを余裕を持って組んでまいりました。そういったことですので、令和8年4月に向けて準備が、何かどこかでひずみが出るんじゃないかといったことに関しては御心配ないかと思いますので。ただ、学校適正配置検討会議でしっかり意見を聞いて、そこでできることやっていって、どういった御意見がというのは分かりませんが、そこでできることをやっていく、開校までにやっていくというのは進めてまいりますのでよろしくお願ひします。

建物の関係は後から別の担当からお答えいたします。

今の時点で、他校の安全対策の事例ですね。他校の安全対策の事例で一番多いのは、今回書かせていただいておりますグリーンラインが一番多いです。といいますのも、例えばガードレールをつけたいという話になった場合に、ガードレールはかなり強固なものをつけないといけません。道路の幅員、道路の幅ですね。これに制限があります。何メートル以上の幅員がないとガードレールつけられないという制限があるということと、頑丈なものを作るために地中に基礎を入れないといけません。その基礎がガードレールの場合1.4メートルの深さまで基礎を入れないといけません。埋設管、要は電気・ガス・水道とか、電気は上にあることが多いですけども。そういった地下に埋設管があると基礎入れられないといったこと。要は、道路の幅、基礎の問題、あと沿道の方の承諾が必要になります。要は、家の前にガードレールつけられると車出入りできなくなるということありますので、沿道の方の承諾が要るということで、例えば、ガードレールをつけたいと言った場合に、それだけハードルがあるということで、この生野区で申し上げますと実際に道路細いところが多いので、できてるものでいくとこういったグリーンラインですとか、あと信号の時間調整、これ警察のほう協力いただいて、子どもが登校する時間帯は信号の長さを変えていただくとか、そういったのが具体的な事例としてはあります。

(区役所2)

建物の60年以上と、その点についてなんですけれども、大阪市全体のよその学校の建物の状況がどうなのかというところは、私どものほう、生野区のほうでは調べたというものはないんですけども、教育委員会のほうからのお話では、大阪市の学校でかなり古いところも多くございますので、勝山と同じような状況も多々見られるというふうには聞いてます。60年越えたら駄目なのかということなんですけれども、建物の長寿命化ということで、建築的な指標がクリアできてれば60年を超えて80年程度活用が

見込まれるというような判断できるということなんですけれども、勝山の場合は、その点に関しましてはそれ以上はもたないということで、建築担当のほうにも確認しておりますので、この課題の解消のために校舎を活用していくということではなくて、校舎を何とかして解体するなりして、後の活用につなげていきたいという案でございます。

(保護者 2)

東桃谷は今築何年なんですか。分かる方おられたら。あっちが50年とか、もう60年弱になって、合併したのにすぐ建て替えなあかんわってことになれへんのかなという心配があるんですけど。分からなければ結構です。

(区役所 1)

今持ち合わせてないんですけども、50年を超えるような校舎、一部だけありますけども、ほかの校舎は50年越えて残り10年しかないとか、そういう状況ではないです。

(保護者 2)

なるほど。分かりました。今の回答に対して意見としてとどめていただきたいんですけど、まず、スケジュールについては今映していただいている全体のスケジュールがかなり大まかなスケジュールでございますので、検討会議等の詳細、何回やるとか、どの時期にやるとかっていうのをもう少し詳細にされたら、期間が短くなくても大丈夫というのがもう少しはっきり分かるのかなと思います。ありがとうございました。

(保護者 3)

まず、区役所で働かれている皆様に生野区のことどれだけ知ってるんですかと聞きたいと思います。生野西一丁目、二丁目、四丁目、旧生野中学校校区とおっしゃいましたよね。平成8年以前、それよりもっと昔、もともとは勝山中学校校区ということをお聞きです。勝山中学校が荒れていた時期があり、そのときの保護者の意見によって生野中学校へ登校するということになったという事情があるということをお聞きです。役所で働かれる方なのであれば、そういう歴史をまず知っていただきたいです。

そして、生野未来学園、旧西生野小学校は、勝山小学校の分校としての位置づけでできた小学校だと私は父から聞いております。その時代には勝山小学校が教室数が少なく、生徒数が多く、団塊の世代の方たちであれば一部西生野小学校の校舎で時間を分けて授業を受けていた方もいらっしゃるかと思います。そういった歴史があることを、まず知っていただきたいです。

そして、ここから少し自分自身、5歳児、今年長の子供がいますので、来年度4月から小学校通うに当たって、ちょうど通っている途中で小学校がなくなり、東桃谷小学校に統合になるというところを含めての質問をさせていただきます。

まず、この通学のルートなんですけれども、これは前回の1月の説明会でもおっしゃっていたように、歩道橋を渡って安全に通学するためのルートを採用する予定でいらっしゃるということで理解してもよろしいでしょうか。

そうなる場合、かえって通学距離を遠くしてしまうということもあるかと思いますが、小学校、せめて低学年の子どもだけでも勝山小学校にそのまま通わせる、少しずつ東桃谷小学校のほうに移動させる、移行させるといったような代替案をもう一度検討していただくことはできないでしょうか。小学校1年生、2年生、まだまだ学習というものに慣れていません。いきなり35人学級で、はい、勉強しますよ。45分間、はい、椅子に座って机に向かって先生の授業聞きましょう、ノート取りましょう。そんなこと難し過ぎます。そういうことをもっと考えて1人1人きめ細やかな授業ができるような環境づくりというものを考えて、統廃合ということの検討材料にしてください。

それからあと避難所に関してですけれども、御存じだと思いますけど、この辺りの地域、高齢者の方もすごく多い地域なんです。だからこそ子どもが少ないんです。昔から住んでおられる方がたくさんいらっしゃいます。そういう方が避難所がなくなったら、杖ついてどこまで歩かせるんですか。車いすの方、どこまで避難させるんですか。新しい学校、必ずエレベーターありますか。身障者のこと考えてますか。そういった複数の方のことをしっかり考えてください。

そして、先ほど小学校の人数、男女別って出されてましたよね。この時代、ジェンダーレスと言われている時代に役所から出てくるものに対して男女で分けて出すってどういうことなんですか。そういうところ、センシティブな部分を考えて資料作りされたほうがいいかと思います。

それで、この勝山小学校、老朽化というふうにおっしゃってまして、確かに年数見ると老朽化だと思います。こちらに関してですけれども、私勝山小学校出身です。私が通っている時点から教室の床、木がめくれている、ざらにありました。その当時の保護者たち、地域の方たち、改修であったりとか、もう少し手直しであったりとか、そういったこと声上げてたはずですよ。自分の保護者も言っていたと思います。そのときにきちっと改修工事であったりとか、耐震補強であるとか、そういった対策をしてこなかったのは、あなたがた区役所で働かれている方々ではないのでしょうか。それをこれから未来を担っていく子どもたちに負担させないでください。そういったことも考えていただきたいです。それによって避難所がなくなって困る方もいる。辛い思いする子どもたちもいる。コミュニティの場所がなくなる。建物自体が使えないからなくすのであれば、せめて何か記念品みたいなものをしっかりと地域の方にも行き届くような、何か形になるようなものまでも考えてください。そういったこともしっかり考えていただきたいです。

(保護者3)

歩道橋を通るルートで決定しているのか聞きたいです。猫間川筋のほうが、信号もあ

ってすごく安全だと思います。なぜかという、歩道橋の下り口考えてください。上り口考えてください。狭いです。上り下りするところすごく狭いです。プール学院さんある方も狭いですよね。自転車も通りますよね。すごく狭いんですよ、あそこ。上り口、下り口のところが。そこをわざわざ通らせるよりは、しっかりと安全対策をして大人が要所に立って見守って、しっかりと信号を渡る。それも交通ルールを子どもに学ばす一つの教育の機会だとも思いますし、その方がかえって安全であることも考えられるので、必ずしも歩道橋を通るということだけを考えないでいただきたいなと思ってます。

(区役所 1)

いろいろと御意見ありがとうございます。

今現在、おっしゃっていただいたように歩道橋を通る形で案としてつくっております。これ実際に勝山北一丁目のお子さんが勝山小学校に通われるときにこの歩道橋を通っているということと、信号ありますけども、やはり車両が通行するところよりも通行しないところの方がいいんじゃないかということで今使われてますので、それをベースにつくらせていただいております。ただ、ここについてはいろいろと御意見、確かにできるだけ短いほうがいいんじゃないかといった御意見もあるかと思えます。その辺はしっかり、先ほど申し上げました学校適正配置検討会議、全体の安全対策を考えていく中で、ルートの在り方についてもしっかりと意見頂戴しながら検討を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

(保護者 3)

実際ね、歩道橋なくなってる地域あるんですよ。隣の天王寺区なんかは昔歩道橋あったんですね。あれ老朽化でなくなってます。皆さん、あちらのほうの地域の方、信号で保護者であったりシルバー人材の方であったりが立って、しっかり見守ってくださっているんで、そういったことも参考にしていきたいです。歩道橋にも老朽化があります。

(保護者 4)

三つだけ。一つはね、皆さん方が今日いろんな意見を言うてはりますね。これは区役所が皆さん方の声は一応聞きましたというパフォーマンスです。間違いなしに。それから、ここにいろんな理屈を書いてあります。これは理屈は後から宅急便です。私たちがやろうとすることは、これは皆さん方もう諦めなはれやということのメッセージだと私は思います。

それからもう一つ、子どもたちが減ってきたら、だから統廃合します。少子高齢化、いつから言われてるんですか。そんなこと分かってへんのですか。勝山小学校なくしました、少子高齢化で今度こっちがなくなりました、はい、もっと減りますよ。生野に小学校が二つか三つになるまで減りますよ。そんなことが皆さん方が考えてないんですか。付け焼

き刃の理屈やないですか、こんなもの。少子高齢化、何年前から言ってるんですか。どんどんなくなりますよ。どんどん減りますよ。それでもいいんですかね。それでも生野区に三つ、二つの小学校になっても、まだ減らしますか。だから子どもが減ったから統廃合するという、要するにもっと頭脳を使いませんか。もっと工夫をしませんか。何ぼでも教育なんて工夫とあれで数が少なくてもやれます。その辺をしっかりと考えてください。

(区役所1)

ありがとうございます。非常に厳しい御意見かとは思いますが。

ただ、これ一つだけ申し上げておきたいのが、この学校の統廃合、再編、これは大阪市の条例で定められているといったことです。

その条例が定められた背景と申しますのが、先ほど資料の最初のほうに御説明申し上げました。その条例を定めるに至った経過としまして、やはりこの学校の統廃合、これまでも大阪市教育委員会で指針というのをつくってました。その指針の中では、地域の理解、合意を得ながら進めていくということが指針では定められておまして、その指針で定められている手続、合意を得て進めていくといったこと。これが非常に、合意という言葉が曖昧な定義がないということがございます。

生野区としましても、平成28年に当時の計画をつくったときには、その合意を得るということで地域のまちづくり協議会の理事長とPTAの会長、その方々の署名捺印をもらって進めていくという形で当初はつくっておりました。

ただ、この生野区の中でも同じようにやっぱり地域の学校なくなるということに対する懸念の声、御不安な声というのと逆に、やっぱり子供たちのためにはやっていくべきじゃないかという御意見、これもたくさん頂戴していく中で、そういった合意ということがそのときの代表者の署名捺印、それによって決めていく。これに対するお叱りというのをたくさん頂戴したところです。

要は、学校のこの再編、100%皆さんがもろ手を挙げて賛成ということではないと。これ我々も認識しております。

ただ、その中で実際に御不安な思い、これをどう受け止めながら子供たちの環境をいいものにしていくかといったこと。これを28年以来進めてきたわけですけども、そういった状況もありながら、ほかの区でもたくさんあります。そういった中で大阪市の教育委員会の中でも、そういった議論が繰り返されていく中で、やっぱりこのまずは地域の思い、いろいろあるだろうけども、この子供たちの教育環境をしっかりと整えるのが先決だということで、大阪市として条例案を提出するという判断に至った上で、大阪市会、議会ですね。そちらで審議、議論いただいた上で条例が定められたという経緯がございます。

もちろんその議会の中の議論も含めて、皆さんが賛成というわけではないです。いろんな意見の方がいらっしゃるというのも議会の中でも御理解いただいた上で、議決され

たという経過でございます。

ですので、まず小規模の学校は統廃合しないといけないという、これはもう我々大阪市職員、大阪市政を監視する大阪市議会のほうで判断されたということで、これはやらないといけないということには変わりないです。意見ですね、聞くだけといったお叱りもありますけども、我々としてもこの再編自体は条例で定められているのでやらないといけないです。ただ、ほかのこと、できること、なかなかハードル高いこともたくさんあるかと思えますけども、できる限りやるための努力を我々の責務だと思っておりますので、しっかり御意見は頂戴したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(保護者4)

僕、条例できたときに大阪市の教育委員会、それから教育長と丁々発止のやり取りをやりました。その場に僕おりました。条例つくるに当たってね。うん。そのときに、こちらの納得の行く答えはもらえませんでした。役所ってね、私たちはやりますよ。だからあなた方は諦めなさいという条例のつくり方をおやりです。そう思ってますが間違ってますか。

(区役所1)

繰り返しになりますけども、学校再編100%賛同、賛成いただけるという課題ではないと思っております。これ本当に先ほど申しました、議会の中でも様々な意見ございました。ただ、その議会の中でも様々な御意見ある中で、こういった小規模校を適正規模にしないといけないといった条例、これが議決されておりますので、私今御説明できるのはそういったことです。

どういったやり取りをされたのかというのを私ちょっと存じ上げないんで申し訳ないですけども、またそういった御意見も今後お聞かせいただけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(保護者5)

そもそもこの統廃合をする本当の理由というのは何でしょうかね。私を知る限りには、そもそも大阪市の財政状況が悪く、橋下市長のときにこの財政を緩和しようとする維新の政策の一つだというふうに認識しておりまして、今になってこの政策がもう意地になって推し進めているようにしか思えません。

それと、この今の理由も全てが後づけというように感じられます。多分ここにいらっしゃる方もほとんど皆反対やと思います。勝山小学校をぜひ残していきたいなと僕もまだ思ってますけども。そもそも老朽化してるんだったら1棟ずつ潰して新築にして造っていったらいいんじゃないですか。もう金はどこから出してもいいじゃないですか。それは後からでも来るものだと思います。

また、例えば廃校になったときに、誰がここを管理するんですか。どうやって管理していくんですか。もう僕もこの近くに住んでるんですけど、子どもたちのいないこの学校、ぞっとします。ただでさえいろんな事件が起きてもう大変なことになって、考えられない事件が起きてる中で、絶対ここだってもうやられますよ。ガラスは割られるわ、もう泥棒が入って大変なことなりますよ。今はもう簡単に言うてますけど。一番いいのは、1棟ずつ潰して、プレハブでその間生徒を授業させて、僕もそんな経験ありますけど、新築にしたらいいじゃないですか。一番簡単じゃないですか。老朽化してるんだったら。さっきもおっしゃってましたよね、新築の話。ぜひ、その方向に進めてください。

(区役所1)

ありがとうございます。

まず、これは維新の政策ではないかといった御意見、まず冒頭あったかと思えます。これ決してそういうわけではございませんでして、もともとこれは大阪市だけじゃなくて全国的な話、文部科学省の方針として小規模は学校は適正規模にしていくといったことございます。

ですので、その文科省の方針に基づいて、大阪市でも昭和の頃から小規模校を適正規模にする、統廃合するというのは進めてきたというのが、これ事実でございます。

(区役所2)

跡地の管理につきましては、先ほど説明がなかった申し訳ございませんでした。跡地活用に当たりましては、校舎を老朽化のため解体していくという方向は考えておるんですけれども、その後、そこを活用する事業者を公募いたしまして、その事業者がこの地域、条件に見合う施設等を建築していただくということを我々考えております。そういったところを探していきたいというふうに思っております。

そこが日常的に学校の勝山小学校の校地の土地建物を管理しながら、地域の活動でありましたり、避難所等ですね、活用できるようにという、そういう条件の下、進出していただくということでございますので御理解のほうよろしく申し上げます。

(保護者5)

その期間は誰が管理するんですか。業者が見つかるまでの期間、すぐ見つかるんですか。

(区役所2)

ですので、こういったスケジュール感を立てながら、令和8年度の4月に間に合うように契約、引渡しができるように公募を進めてまいりたいというふうに思っております。

(保護者6)

条例とかそういうのは大人の事情で、まず子どもたちの意見なんですけれども、私勝手に下校で見守りに立たせていただいているんですが、子どもらから相談されることが最近増えてきました。勝山小学校潰れるのとか、自分の弟とか妹が勝山小学校通われへんとか、本当すごく悲しんでるのをよく見るんです。実際相談もされるし。「遠足に行ったら自分の勝山小学校よりも少ない児童、学校が来てるよ。何で勝山小学校だけ潰されるの」というのを本当泣きそうな顔で言われるんです。「みんな地域の方とかが残そうとして頑張ってくれてるよ」と言うんですけど、やっぱりこうやって見ると全部大人の事情で。子どもたちが、じゃあ統廃合されたときに東桃谷だの未来学園だの、登校するっていう話になったときに、通学に関してもなんですけど、安全性もそうですし、子どもたちのメンタルってね、統廃合した後って、じゃあ区役所ここから知りませんという話になるんですか。

それと、あと小学校の先生に子どもらのメンタルに関してとか、それを先生方をお願いしますっていうのも、それは本当筋違いだと思うんです。勝山小学校の先生方ね、少人数かもしれませんが子どもたち大切に育ててくれてて、見守ってくださってるんです。だから、そういう面でもやっぱり子どものメンタルに関して、区役所はもう統廃合したから知らんよって、あとは違う局だとか、そんなん大人の勝手なんで、それは申し訳ないけど、ちゃんとこういうふうにしますとか決めてあげてほしいんです。

あと、高齢者の方に関して避難所ね、ここ体育館だけしか残れへんとか、そういううわさ聞いてて、やっぱり杖ついた方とか、そういう方が100%ここで避難することができるっていう補償もちゃんと決めてあげないとやっぱり不安だと思うんですよ。そういうのをちゃんと考えていただくこととか、そういうのを含めた上で大人の条例っていう言葉だけでは子どもたちに何て説明してあげたらいいのか。それちゃんとしていただきたいと思います。お願いします。

(区役所1)

ありがとうございます。もうまさに児童の声を伝えていただいて非常にうれしく思っています。本当にお子さんが一番不安を抱えてらっしゃると思います。特に、この勝山小学校、非常に学校のほうすごく一生懸命お子さんを見ていただいて、すごくお子さん方からも人気あるという話もこれまで伺っております。

あと、区役所が統合したら、後は放ったらかしかという話。これは区役所としてできることというのは限られてまいります。やっぱり学校の中での活動、学校のほうで見ていただかないといけないということありますので、これもまた今後、学校適正配置検討会議とかの中できっちりと御説明はしていくんですけども、再編、統合する前の段階から通常の今の教員の先生の数よりも多く配置する。その統合後もずっとではないですけども、しばらく教員をたくさん配置する。こういったことですか、あと児童の精神的な面

ですね、そういったところにしっかりフォローするためにスクールカウンセラーを配置したりとか、そういった区が直接何かというわけではないんですけども、区として学校、子どもたちの何か助けになることという仕組みを考えてやっていくという形で考えておりますので、またそういった御意見頂戴できたらと思いますのでよろしくをお願いします。

(保護者 7)

何か先ほどから聞いてたら、平成二十何年からこういう話なって、今こう聞いたらいつも条例、条例で決めたと。普通の保護者の方ね、条例いうたら何やと。それはもう行政の勝手ですわ。住んでる方、親御さんの子どもさんの気持ちはいつも考えてないです。皆さんも大阪市の職員やったら、ある時期来たらまた異動しますわね。平成二十何年の方、おられますか。こういう話なったとき。ここでも1回説明会ありましたけども。そのとき誰か来られた方おられますか。1人ですか。やっぱりね、長年住んで、平成二十何年から統廃合なるいうのん決まってるということ言われたから、あ、勝山校区じゃなしに東桃谷校区行く方もおられます。それは行政の責任です。何が少子化とか、そういうので子ども足らんのはもちろんありますけども。それは皆さんが道開いて統廃合を目的に、そういうのを早くから流したん違いますか。反対の意見があれば、これは考えるということを私聞いてました。何も考えてませんやん。いつ条例できたんですか。この条例。条例でいつできたんですか。

(区役所 1)

令和2年4月です。

(保護者 7)

令和2年。ほんなら平成から、その間の説明会を何回やったんですか。ほんなら、この地域の方、東桃谷もちろんあれやけども、この勝山地域、西生野校区の方、いろんな方統廃合は今未来学園になったけども、やっぱりしんどい言うてます。ほいで統廃合された跡地、学校、それも何やもう20年契約で、あと又貸しもできるような噂も出とる。皆さん責任持てますか。そんなこと。勝山もいづれそない統廃合なったらなりますやん。だから、いつから条例で決まったんですか。皆さんが勝手に決めたことを我々住民が飲まなあかんということなんですか。もう一遍検討して。条例が令和2年、誰が賛成してそんなしたんですか。そら議員さんは市民の代理や言うけど、どんな人ですか。どんな人が決めてるんですか、そういうの。市民の意見全然聞いてないですやんか。いろんな年寄りも多い、避難所こう行くいうのん、みんな何を皆さんはある程度何年かしたらほかの区行ったり市役所行ったりします。ここにいてる方は、ここにずっと住んでます。それを考慮して、もうちょっと条例、条例言うたら若いお母さんは決めたことやいう頭入ってるんです。これ決めたことなんですか、もう。決まってるんですか。

決まっていますね。今の言い方ずっと見たら。あとどうのこうの言うてるけども、少しやり方がおかしいん違いますか。それ一つ、検討よろしく願いいたします。横の方が言われたとおりですわ。実際問題。せやから一つね、何かお母さんら条例言われたら、何の、もう決まってるのかなと。もうスケジュールこれ見せられたら、ほんならこれも見ても東桃谷の0歳から何歳というデータは出てない。そういうのもあるし、私はおかしい思います。ひとつよろしく願いします。

(保護者8)

今小学校3年生の孫がいます。家の中でこの話題出るんですよ。もう不安がってますよ。次、今3歳の孫もいます。お姉ちゃんと分かれるのかな。それと、これ今日ずっと延々と続きますよ。誰も、はい、分かりました。賛成しますっていうの恐らくくないと思う。

私は地域で生涯学習の担当をしています。ほかにも3校も4校もなって、もうばらばらになってしまうんです。子どもだけの問題ではないんです。生涯学習でお年寄りの方、遠く行けますか。これ大変ですよ。子どもだけの問題ではない。

そして、今言われたように条例も、条例で決まってるから、もうみんな半分諦めていますわ。それから、このよくできてる、感心します。よくぞこれだけの資料を作られた。御苦労さまと言うしかないですわ。ちょっと考えてください。私はやっぱり生野で生まれ、生野で育ち、生野を愛しています。ここを愛しています。生野、周りからどこに住んでいますか。環状線の外ですか中ですか、いまだに言われますよ。天王寺から阿倍野からずっと来たなら、もうこれ戦災遇わなかったから長屋がいっぱいですよ。私はすぐこの裏に住んでいます。6軒長屋。前の家は私道です。いまだにアスファルトを何回も市にお願いしても進みません。だから生野区の方は役所に言っても仕方ないから自分たちでしますっていう。そういう生野区なんです。生野が好きだから、ここに住みたいからみんなでコミュニティを。ここの生野区は昔から青少年育成事業団、歴史があってキャンプをしています。大阪府立の野外活動センターも潰されました。大阪市伊賀上野も潰されました。キャンプで育った子どもたちがいっぱいあります。その人たちがいっぱい地域愛がいっぱいある勝山なんです。子どものことも、そして地域の人もやっぱり考えてください。いっぱいいっぱい思いはみんなあります。私たちの1人1人の気持ちをやっぱり大切にしてほしいなという、それだけです。それだけです。もう半分諦めていますよ。でも諦めたらいかんと思って一言言わせていただきました。ありがとうございます。少人数でも行ける学校ありますよ。残しましょう。

(保護者9)

感情論のほうで言えば残してほしいというのはもちろんあります。今さらこの年で子どもが産まれたんで自分が育った学校に行けるのかなとは思ってたんで。そもそも祖父

もこの学校にいろんなことで補助したりとかしてたっていうこともあるんで、感情的には寂しいなとは思いますが、現実的なところで聞きたいことあったんで。

教育委員会の方いますか。いないですね。聞きたいのが、東桃谷に統合するのはいいんですけど、統合した場合に学級数と教室数というのはどうなってますか。幾つかまだ聞きたいことあるんで、すみません。

(区役所 1)

今、前に映してます資料の20ページに統合後の見込みを入れております。この勝山小学校、今校区を分けてという話をさせてもらってるんですけども、その校区を分けた上で1学年2クラスが全学年2クラス。これが維持できる見込みというのが、大体数字が6学年300人前後で推移していくというふうに見込んでいるところでございます。で、あと教室数につきましても、今、東桃谷小学校で空いている、使っていない教室があります。それを普通教室、要は学級、クラスが入れるような形で改修工事をして対応するという予定になっているところです。

(保護者 9)

結局、教室数は幾つ。

(区役所 1)

改修後で教室数、クラス用の教室15クラスにする。

(保護者 9)

場合によっては足りなくなると。そこに支援級は幾つになってます、今。

(区役所 3)

今、東桃谷小学校では支援教室用の教室としては2教室建っております。

(保護者 9)

娘の今後に関わることなので、この際で聞きたいんですけど、文科省からの通達で週の半分は支援学級に在籍しろと言われてるんで、多分大阪市今年度からもうそれ進めると思うんですよ。多分半分もおれって言ったら本当は支援に行かせたいけども、通常の学級の友達と学ばせたいから支援学級やめとくわってという保護者のかたもおられると思うんですよ。そうすると、その子たちが通常の学級に戻ってみんなと一緒に学習します。聞こえのいいインクルーシブです。日本の教育体制はインクルーシブができるとは全然思わないんですけど。その場合、担任の先生が1人でその子たちの面倒を見れるかということ、多分厳しいと思うんです。昔ならいざ知らず、今はもう多種多様な子どもた

ちが出てきてるんで。実際、勤務先の近くの学校だと、ちょっともう既にジェンダーの低学年の子もいます。そうなると対応は担任の先生1人じゃ厳しいです。そうすると、支援級の先生が入り込みでやらないといけないと思うんですけど、今予算を減らしたいから支援級を減らしてますよね。それを通級教室で賄おうとしてるんですけど、通級教室と支援級は役割が全然違います。通級では対応できないです。

その場合、今までやったら支援学級の先生が入り込んで隣についてくれて見てくれてたんですけど、そうすると担任の先生でも何とか対応できてます。今後その辺りの対応をどうしていくのかというのを、今は多分教育委員会の先生がいないと思うんで言えないと思います。そこをちゃんと教育委員会に上げてもらって、人員の配置をどうするかというのをちゃんと意見として挙げてください。今後娘を通わせるのに、その辺りは大阪市に関しては疑問に思うところがたくさんあります。公立、本当は小学校の間は公立がいいかなとは思ってるんですけど、今の体制でいくんだったら公立は僕は避けたいと思っております。

(区役所1)

ありがとうございます。その辺、確かに今までの特別支援の在り方と通級指導の在り方、今移行期やという話は伺ってるんですけども、今いただいた御意見しっかりと教育委員会のほうにも伝えて我々も確認してまいりたいと思います。

(保護者1)

私も勝山小学校のOBです。ですので、当然勝山小学校を残したいという気持ちが強いんです。ですけども、今皆さんの説明の中では、勝山小学校を廃校するためにいろいろと理由を御説明していただいているんですけども、そもそもこの勝山の地域っていうのは愛和幼稚園があり、それから小学校がある。初等教育にはすごく適したところなんです。せっかくそういう環境があるのに何で潰すんじゃなくて活かそうというような気持ちにならないんですか。発想にならないんでしょうか。

何をもって合理化というのは、いろいろあると思うんです。例えば、児童が少ないというのであれば、児童を増やす努力をすればいいじゃないですか。例えばですけど、ここは天王寺区と近くに隣接しています。環状線のガードを越えれば天王寺区ですね。五条小学校、聖和小学校、校区あります。玉造筋からね、東というのは、恐らく勝山小学校のほうに近いでしょう。それから愛和幼稚園に通ってたというような児童も多数おられると思うんです。

もともと天王寺区は学校選択制というのが導入されてて、それは生野区には関係ないんかもしないんですけども、天王寺区から勝山小学校を、その選択制の一つに入れたらどうですか。そうしたら増えるでしょう。また、五条小学校や聖和小学校でかなり児童が多いって聞いてます。受け皿としても使えるでしょう。

それと、今各世帯夫婦共稼ぎが前提の社会になってます。今、いきいき教室ていうんでしょか、待機児童向けの教室がありますけども、塾とか習い事に補助金を出すぐらいやったら、そこで例えば学校の先生のOBとかでNPO法人を立ち上げてとか、それで安い金額で20時ぐらいまで塾をやってあげるとか、そういうことで安心して働けるじゃないですか。今、政府が子育て支援とか言うてますけど、小学校とか初等教育こそが子育て支援の最たるものじゃないでしょうか。なぜ、せつかくこういう幼稚園と小学校が、あそこは私学ですけども、あるのに、活かそうとしない。潰そうとしか考えてない。まちづくり課の皆さんも何でそんな考えにしかならないんでしょうか。これではまちづくりじゃなくてまち潰しですよ。

それから、学校の先生が少ないという問題もあると思います。でもこれってね、学校の先生の待遇が悪いからなり手が少なくなってるんじゃないですか。文句を言うてくる親御さんに断固たる対応もできず、後で謝りに行かされて、それで精神病んでる先生も多いと聞きますよ。そのしわ寄せが統廃合なんですか。それが合理化なんですか。それも違うでしょう。教育委員会の方おられへんと思いますけども、これ本当は教育委員会の方がもっと自分らの仕事場のことでしょ。何で言われたままになってるんですか。もっと自分らの仕事のことなんですからストライキでもしたらどうですか。もうそれぐらい僕思います。不思議でしょうがないです。

学校の校舎のこともそうです。勝山小学校は東桃谷よりも10年ほど古いはずですよ。何で今まで改修されてないのか。これがよく分かりません。

28ページかな、ちょっと映してもらえますか。AからEまでありますけども、これ全部要らないですよ。必要な部分だけでいいじゃないですか。お金が足りないって言いますが、万博とかで1,200億やったんが1,800億なって、どうせそれよりもっと膨れるでしょう。国と府と市で負担するんでしょ。何百億で負担するんですよ。コスト意識なんか全然関係ないと思うんですけど。それからカジノもするんでしょ。海外の富裕層からお金あぶく銭巻き上げて、それを僕らに還元してくれるんでしょ。それ財源にしたらいんじゃないですか。お金がないというのはちょっと思えない。

最後にしますけどまちづくりの方もそうですし、役所全体もそう、教育委員会もそう。何でそんな潰す潰すばかり。活かそうとしてくださいよ。僕言うてること間違ってますか。できないことないでしょう。方向が違うと思うんです。よろしくお願いします。私の思いは以上です。ありがとうございました。

(区役所1)

ありがとうございます。本当に皆さんいろいろ意見頂戴して、この勝山小学校、地域に対する思いというのをこれまでもお伺いはしてきましたけども、今日改めてお聞かせいただき非常にありがたく思っております。

ただ何点か、先生が少ないから統廃合が必要になるんじゃないかといった話。これ教

員の数が少ないから統廃合しないといけないというわけではないんです。教員の数は、今ちゃんと学校の数、クラス数、それに応じて毎年募集して、きっちり採用されてるといふうに伺ってますので、その問題とは若干違うという面があるといったことと、あとはまちづくりですね。

これも子どもが減っていったのはやっぱり行政の今までの失敗じゃないかと。子どもを増やす努力が先じゃないかといったこと。これもよくこれまでもいただいております。これ子どもを増やす努力、正直申し上げて区役所で何かできるかというところではなくて、大阪市全体の施策に関わる話になってまいります。

ただ、我々今区役所としてできるまちづくりでいいますと、特に勝山校区内にお住まいの方、よく一番御存じだと思いますけども、今、住宅の建て替えが始まっています。ここ四、五年ですね。特にここ一、二年いろんなところで古くなった住宅、家屋の解体が進み出していると思います。これに我々期待しているというのが一つと、空き家になったままのところでもどうしようもないところは解体して新しく家が建てほしいというふうな思い持っています。ただ、使える空き家の場合ですと空き家を利活用してまちづくりができないかといったこと。空き家の対策を2点ですね、活用と建て替えの促進。これ建て替えの促進も区役所が直接やっている業務というわけではないんですけども、区役所の5階に生野南部事務所という都市整備局の所管の事務所あります。そこで空き家の解体の補助の制度持っていますので、こういった補助がありますというのを御紹介させていただいたりしてんですけども、利活用と建て替え。この建て替えによって今劇的に人口、子どもが増えるというわけではないですけども、建て替えが進むことによって、今の子どもの数が維持できるんじゃないか。これ以上減っていくのをどこまで止められるか。そういったところを今区として目指してやっていますところですので、またいろいろと御協力、御意見頂戴することあるかと思っております。今みたいな御意見もまた直接お伺いさせてもらってもいいかと思っております。

(保護者3)

私の叔父は防犯やってました、昔。今も生涯学習的なこともいろいろ自主的にやっています。きっとそういう自分で自分の生きていく力を養っていかうって、みんなで楽しく生きていかうやうというマインドの人たちがたくさん集まっているのが、この勝山地域やと思うんです。それで今、住居を改修して建て直すっておっしゃいましたよね。学校建て直しませんか。住居を建て直したら子どもの減る数が抑えられるかもしれないとおっしゃってますけれども、少人数やからこそいいところがたくさんあるんです。私、前回1月の説明会のときに少人数やからこそできるいいところというので案を幾つも話をさせていただいたんですけど、今日の資料に1個も入ってませんでした。前回の資料のただの複製です。使い回し。なので、あえてここでもう一回その意見を言わせてください。

まず、少人数やから運動会できひん。組体操とかそういう大掛かりなことができない。

そういう行事のときに東桃谷小学校と合同でどこかのグラウンドを借りるなりして地域の方も巻き込んで、過疎化の町でよくやっていますよね。皆さんニュースで御存じですよ。そういう運動会の方法と違ってやりませんか。音楽鑑賞会、合唱祭、そういったものも合同でやったらいいんじゃないですか。そうしたら子どもたちも楽しいし地域の人とのつながりもできるし、全然知らん、住んでてもね、今の子どもたちって、うちもそうですけど親働いてるから日中に外を出歩くこと少ないんです。幼稚園、保育園、小学校、行き来してても地域の方と顔合わすことって少ないんです。全然知らんおっちゃん、おばちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、声かけられたら不安です。そういう交流の場をもっと持てる場にしませんか。そういう会をつくることでもっと地域が活性化して、それこそまちづくりやと思うんです。そういうことがあって初めて住居の改修とかをして新しい方を招き入れて、子どもたちが増えて、人口も増えて、そうしたら学校も活性化しますよね。今いきなり子ども増やすことから始めたら、子どもらの学習止まりますよ。先生の数少ないのに、いきなり子どもだけ増やしたら、手厚かったところが手厚くなくなりませんか。

それで、これもニュースで見ましたけど、チーム担任制というのを導入してる学校があるというのをつい最近やってみました。それをすることでケアできるんじゃないですか。たくさん子どもたちのことを。1人の担任に任せるから先生たちも負担が大きくなるんですよ。テストの問題作らなあかん、日々の教材作らなあかん、子どものメンタルのケアもせなあかん。そんなんしてたら先生のなり手いませんよね。待遇の悪さもそうやし、働く環境もそうやし。そういう環境改善から考えてほしいです。これをこんな私みたいな、ただ一住人、ただの母親だけじゃなくて、まちづくり課の人がそういうことをしっかり考えてください。そういうふうにしてほしいです。少人数やから廃校します、なくします、やめてください。子供のことも、そしてお年寄りたちのことも、それから今子育てしている私たち親世代の子とももっと考えてください。保育園って朝7時とか、認可外とかやったらもっと早くから開いてるところあるんですよ。夜も20時、21時までやってる保育園だって場所によってはあります。小学校行ったらどうでしょうか。ついこの間までお母さんと手つないで、お父さんと手つないで、誰かおじいちゃん、おばあちゃん、手つないで行ってきます、ただいまって、その辺歩いてた子どもたち、小学校1年生なった途端に18時頃で終わりますよね、いきいき。保育園で晩御飯出したりもしてるところもあるんですよ。補食的なもの出したりしてるところあるんですよ。地域による、勝山小学校が全てとは言いません。そうなるってとは言いませんけど、そういう長時間預かってくれるところだったりとか、働き方だって多様化してきてるので、夕飯になるようなものも出して20時、21時まで預かっていただける。もちろん子供の体調とかいろんなものも考えてのことかもしれないですけども、働く親のことも考えていただいたら遅くまで預かっていただける環境づくりという、そのいきいきとか学童とか、そういうところもいろいろ考えてほしいです。そういうのも全て考えて、まちづ

くりと言ってください。今のは全然まちづくり課になってないです。本当に先ほどおっしゃったとおり、まち潰し課です。全然住人のこと考えてないんで、もっとしっかり考えてください。

(区役所1)

ありがとうございます。

前日も御意見頂戴して提案いただいたとおっしゃってました、行事を合同でと。これ実際に令和8年4月に再編するという計画が教育委員会の審議の後、計画として成立すれば、いきなり令和8年4月、用意ドンで2小の子どもが一緒になるというわけではありませんでして、それに向けて合同のいろいろな行事は学校のほうでやっていただくというふうに考えております。

ただ、これやっぱり場所の離れた学校同士で合同でやっていく。これはこの東桃谷、勝山だけの話ではないですけども、離れたところで合同というのは非常にお子さんもそうですし、教職員の皆さんも負担がかかります。どちらかに行つての行事ということで移動の時間の確保、移動時間中の教職員の体制含めて、かなり負担がかかるという話も伺っています。

ただ、再編をスタートするまでに両校いろんな交流活動をしていただいて、子どもたちがいきなり初めて顔を合わすというのではなくて、事前交流から徐々に不安をなくしていきたいというふうに考えているところです。

それと先生の数なんですけども、今回この2小で統合した場合に、先生の数、今のまま統合するわけではなくて、もちろん学級数、クラス数に応じて先生は配置されますので、今1学年1クラスで担任お一人です。1学年2クラスになるともちろん先生2人担任になります。先ほど御紹介いただいたチーム担任制導入されているというのも私も最近見かけたんですけども、そこも確か1学年2クラスか3クラスの先生方でチーム担任制でやってらしたと思いますので、そういったのは今大阪市でそういうのを導入してるというのは聞いてないですけども、そういったいろいろないい取組というのは、これ我々も教育委員会のほうにも話はもちろんしていきますし、そういった情報があれば教えていただけたら非常にありがたく感じているところです。

(保護者6)

平成28年の説明会のときに、何か地域の方々が勝山小学校の建て替えはいつになるんですかみたいな話をされたのを覚えてます。東桃谷はそのときはもうきれいな校舎になって、勝山はまだなんかなみたいな話をされたときに、区役所の方が人数の順番なのでという話をされてました。そのとき資料見たら、東桃谷も勝山も人数同じぐらいだったので、そろそろ建て替えてくれんのかなて思ってたんですけど、全然建て替えてもらえないまま今まで来てて、何か統廃合で潰れるから建て替えとかしてくれへんのかな

ってちょっと思っていました。

で、順番やっけ言うんやったらそろそろ勝山も建て替えの順番が回ってくるんじゃないかなって思ってるんです。そこで提案なんですけど、元鶴橋中学校で今不登校の子とかが学習できる体制だとか、生涯教育をしている体制だとかをつくられてますよね。それを勝山小学校やったら元鶴橋中学校よりも駅から近いですし、子どもたちも通いやすいんじゃないかなと思います。なので、校舎を建て替えたりとか新しくしてもらって、そういう不登校の子たちが通いやすい、勉強しやすい地域とかにってもらってすると、校舎もきれいになるし、地域の方たちももし災害が起きたときとか非難もできるやろうし、地域の方々の生涯教育とかもそこでできるので、地域にとってもいいし、ちょっと学校に行きにくいなって思ってるお子さんたちにもいいし、他区に勤めてるんですけど、そこでやっぱり行きにくいから鶴橋中学校のほうに行って自分のペースで勉強できるように考えてるけど、やっぱりちょっと駅から遠いから送り迎えもしんどいっていう保護者の方もいるんです。それやったら勝山小学校やったら駅からも近いし、そういう保護者の方たちのニーズにも合うのかなってちょっと思いました。

なので、校舎一回潰されるって言ってたんですけど、建て替えとかでいけるのであれば建て替えてもらって、そうやって使っていただければ、子どもたちにも返していけるんじゃないかなとは思いました。

(区役所1)

元鶴橋中学校でやってることも御紹介いただいてありがとうございます。

ただ、これは教育委員会の施策としてやってる分になるんですけども、今そういう不登校のお子さんとか、そういったまた新しく浪速区ですかね、浪速区にまた新しくそういう学校ができるんですけども、今、元鶴橋中学校でやってるのは今の校舎を活用するというところでやってまして、それをどこか場所を変えて継続するために建て替えるという形の案というのは、今の教育委員会の話の中ではなかなか難しいのかなって思ってます。

ただ、今そういった元鶴橋中学校にお子さん通われている保護者の方の御不安なこととか、そういったのを、我々もそういった声いただけたら、我々から教育委員会のほうにも伝えていくことができますので、そういったことまたよろしく願いいたします。

(保護者10)

娘がいて小学校今3年生と、その愛和幼稚園に通ってる年長に1人いてる2人の父親なんですけども、先ほどからも出てたとおり、やっぱり幼稚園があって小学校があってというのがすごくいいなと思ってこちらで家も購入して住ませてもらってるんですけども。早速引っ越しても不動産屋さんからも家売ってくれませんかみたいなんがよくくるんですよ。やっぱりこの辺人気の地区みたいで、すごく地域コミュニティもしっかりしてるし子育てしやすいところやなと思って、前回のときも言わせてもらったんで

すけども、生野未来学園もすごく校区いびつやと思うんですよね。すごく東に広い。実際通ってる、先ほどもね、女性の方言われたんですけど、1年生の子たちがこれ歩いて行ってるんやなと思うと本当に負担やなって思うんです。うちの子も次新1年生になるので勝山小学校に行かせて、そのまま勝山小学校でお姉ちゃんと一緒に卒業するって言うてるんですね。「パパ今日できればお姉ちゃんと一緒に勝山小学校で行けるように言ってきてほしい」ということを受けて、今日ほんまは雨やし行きたくなかったんですけど、これだけは言っとなあかんなと思ったので言います。多分、Y o u T u b eで見られている方もそういう方すごく多いと思うんです。これ本当に子供のことだけじゃなくて、私今40歳ですけども、どの年代にもね、これ関わってくることなかなと思うんです。学校の統廃合って。学校って地域の中にありますよね。これ子どもだけの問題じゃないなっていうのを今日参加させてもらって改めて感じさせてもらいました。最初はやっぱりどうしても自分の子ども中心に考えがちやったんですけども、やっぱり今日皆さんのいろんな意見聞いて、やっぱりここ残していかなあかんのちゃうかなって。本当にたくさん手挙げている中で私当ててもらったんですけども、みんなその思いやと思うんです。これ今案ということで、民間の立場で考えたら、これ本当に失策やと思うんですよ。生野のまちづくりというか教育委員会も含めてかもしれないですけども、これ民間の会社やったら役員全員辞職せなあかんのちゃいます。こんな状況になって一番しわ寄せ受けてるのは区民じゃないですか。今の子どももそうやし、我々働き世代もそうやし、今のお年寄りの方たちもそうやし。本当にね、これみんなにとってすごくデメリットになっていると思うんですよ。本当にこれからの子どもたちのためにも、これからお年寄りになっていく、この地域の方みんなにとって、やっぱりこの場所なくてはいけない場所なんちゃうかなっていうのを、本当に私入り人ですけども本当にその思いで、やっぱりここに引っ越してきてよかったなって改めて思うし、何とか勝山小を存続させる方向でもう一度検討いただきたい。

これね、12学級以下の学校で大阪市でかなりありますよね。恐らく、この少子化の中で。聞きたいのは、大阪市で勝山小のような統廃合に関わっている、検討されている学校が一体何校あって、本当にそれ全部やり切るんですか。この会議何回もやってね。これまさか、何年後かに勝山小学校は統廃合されたけど、同じような環境にあった学校は幾つも残ってるみたいなことにならないですか。やり切るんですか、ほんまに。それ大阪市全体でもう一回検討してもらったほうがいいですよ。だってそんなね、分からなかったじゃないですか。私たち条例で決まってるとか、いつ決めてんっていう話ですわ。こんな大事な話ね。後出しもいいとこですよ。ほんまにそれこそ総選挙したらええんちゃいますか。もう一回民意問う形で、いっぱいいてるでしょう、多分小規模校なんて。少ない人数のところは泣き寝入りですか。大阪市ってそんなに財政難なんですか。大阪府と大阪市が一体化して、橋下さんから今吉村さんになっちゃってね、すごく財政も健全化したって言うてるじゃないですか。それなのにこれだけの言うたら意見というか、こういう立場

に置かれてる人たちを救えないぐらい財政難なんですか。その辺りもね、しっかり示してもらって、多分もう皆さんはお金のこともあると思うんですよ。もうそれは分かりますわ、見とつても。校舎建て替えるのもお金かかるやろうしね。そんなん1億、2億じゃないじゃないですか。厳しいと思うけど、これ長い目で見たときの投資やと思うんですよ。その辺、もう一回本当に、市議会か区議会か分かんないですけど、そこで検討していただいてほんまに勝山小学校だけを統廃合なってね、ほかのところなれへんとかになったら、ほんまに何やってんでなるし、僕自身後悔すると思うんです。そうなった未来のときに、何で勝山小だけ守られへんかったんやろうって思うので、そこはしっかりと検討していただきたいです。よろしくお願いします。

(区役所1)

ありがとうございます。お子さん、きょうだい一緒に同じ学校で一緒に卒業したいという言葉、非常に重く受け止めております。

ただ、これ繰り返し恐縮なんですけども、これは議会の情勢といいますか動向ですね。条例できた話、これ御存じなかったということで、これは我々何といたしますかね、広報といたしますか、そういったのが行き届いてなかったということ。これ反省したいと思えます。

ただ、我々もできる限り広く皆さんに分かっていただきたい、正しい情報を伝えたいということで一生懸命区の広報誌ですとかSNSを使って発信というのは引き続きやってまいりますのでよろしくお願いいたします。

それと、あとほかの区の状況ですけども、もちろん区、学校。その学校の施設の状況とかいろんな状況ありますので、進み方はいろいろありますけども、今現在で計画、今日は計画案の説明で、この後、教育委員会に諮って計画になるんですけども、今時点で計画を持ってるのは生野区で言いますと、資料の中にありますけども、北鶴橋小学校と鶴橋小学校です。あと淀川区で今計画の段階に進んでるのは淀川区では3小学校あります。ほかの区については、今現在計画まで至っているところは把握してないです。そういった状況あります。

ただあと、この適正規模にしないといけない対象校は、これちょっと去年の状況にはなるんですけども、大阪市内280校小学校ある中で、約80校がこの適正規模にしないといけないという小規模校がある状況になってます。

また、本当に今おっしゃっていただいたお子さん、保護者だけじゃなくて、地域の方の思い、そういったのは本当に今日いろいろとお聞かせいただいて、本当にありがたく思っております。

ただ、そういった声を本当に受け止めて、もう本当に繰り返し恐縮です。議会の議論を経て条例で定まっております。ただ、これはやっていく上で地域の思い、御不安な声というのにできることをしっかりとできる形で対応していきたいと思っておりますので、御意見

しっかりと頂戴しながらやっていきたいと思います。

(保護者 1 1)

今日初めて聞いたんですけど、そもそもおっしゃってたやつは鶴橋と北鶴橋は先行で実施すると。遅れて勝山と東桃谷やると。そのときに4校一緒にいう理解でおったんですけど、4校いうのは鶴橋も北鶴も勝山、東桃、一緒にやりますいうふうに聞いてたんですけど、いつどこで変わったんですか。

(区役所 1)

ありがとうございます。平成28年のときには4小を統合するという話でして、いつ変わったと申し上げますと、具体的に2小統合ずつに変えるというふうに検討を始めたのは令和2年です。令和2年にその検討を始めましたのが、すみません、失礼しました。令和3年です。そのときに、その検討を始めましたのが国のほうで法律が改正されて、1クラスの人数がそれまでは40人で1クラスと。40人を超えたら2クラスになるという制度が35人という形で改正されました。これ令和3年からです。その35人学級制に改正されるという法律改正がありましたので、その時点で再度検討しまして、北鶴橋小学校と鶴橋小学校、これ2小だけですともともと40人学級の場合は2クラスにならなかった。なので4小統合というのをもともと持ってたんですけども、35人学級ということで法律改正されましたので、そうしたら児童の登下校の負担も考えて、できるだけ近いところでできる方法があるのであればということで2小統合という形に変えて進めてきたところなんです。これちょっとこれまでの私の説明の仕方がちょっと分かりにくくて申し訳なかったんですけども、一応そういった形で、そうですね。この資料の中では昨年の6月からまちづくり協議会、PTAの方と意見交換というふうには書かせていただいているんですけども、一昨年の12月に一度まちづくり協議会のほうにお邪魔して、勝山小学校の再編はなくなったわけではなくて、今後もしっかり検討を進めていくので御議論をお願いしたいということで、そのときには具体的にはそこまで御説明申し上げてないんですけども、昨年の6月以降そういった形で御説明をさせていただいてきたつもりなんです。

ただ、これもなかなか正確になかなか伝わってなくて、今お叱りを受けたと思います。その辺もしっかり反省しまして正確に情報をお伝えするようにしていきますのでよろしくをお願いします。

(保護者 1 2)

今、小学校2年生と5歳の年中と2歳、もうすぐ3歳になる子供がいる母親です。私自身も勝山小学校出身で、私の主人も両方の父もみんな勝山小学校出身なんです。もうこの地域が大好きで、地域の皆さんに支えられながら本当に小学校に通ってたなって本

当に自分自身も思いますし。

前回の説明会のときはY o u T u b e で聞かせていただいていたんですけども、今日ここに来て皆さんの意見なり発言をお伺いして、本当にこの町がすごい素晴らしいところだなというふうに改めて思いました。

今、小2で通ってる子どもも、先ほどおっしゃってたみたいに、僕ここもう終わるのとか、勝山小学校行かれへんのか言うし、次男とかはあまり何も分かってないですけど、やっぱり私の気持ちとしても3人同じ小学校に入れて、やっぱりこの小学校で卒業させたいという気持ちがすごい強いんです。今日も主人の家に子どもたちをお任せしてここに来させていただいたんですけども、だからこそちょっと発言とか何か意見をと思ひまして。こう条例、条例、条例で、もうずっとそればかりだと思ひうんですね。そこを変えれないのかというのが本当に皆さんの意見だと思ひますし、このまま本当に統廃合を進めていったときに、町の人からはすごいストライキ、何ですかね、抗議が来ると思ひます。区役所なり、何か乗り込んででも。私もそのつもりですし。とにかく2歳の子供が通うときにはなくなるかもってちょっと諦めてたんですけど、もう皆さんと闘いたいなって思ひます。

(保護者4)

泣いてまで訴えてはる。それを行政は冷たい目で聞いています。はい。皆で住民投票しません？やりましょう。

(保護者3)

適正配置とか、基準何ですか。条例、令和3年、もう少子化なってますよね。その時点で35人学級で、その規定がおかしくないですか。もう少子化なってるときに35人学級を当たり前にしますよ。それが間違ってるんですよ。もっと、せめて20人とか15人とか、その基準を下げ方、たった5人、40人から35人のたった5人減らして何の意味もない。条例作り直した意味何もないです。私たちメリット何もないです。もっとよく考えてください。

(保護者4)

勝山で住民投票をしたいと思ひます。そのときに皆さん方動いてください。勝山の票を集めましょう。

(区役所1)

今の話、非常に役所なので分かりにくくて申し訳ないです。大阪市の条例で決まっているのは小規模な学校を適正規模にしないといけないということ。1クラス当たりの人数の話につきましては、これ国の制度になってます。なので、1クラスの数については、

これまでも大阪市会、大阪市の議会でも議論はされておりますけども、国のほうの制度として1クラス35人というふうに決まっておりますので、今いただいているような御意見、もっと人数少ないほうがいいんじゃないかといった御意見も市会で議論されておるのは我々も把握しておるんですけども、そこの違いだけ御説明をさせていただきたいと思っております。

(保護者10)

今、明石市とかね、どんどん子供増えてたりしてますよね。大阪市もそういう施策できると思うんです。今言ってたように学級数というのは国の基準かもしれませんが、ほかの自治体で独自に25人学級やったりしてるところもあるじゃないですか。そういうところを大阪市としてやっていったら、今の小規模、この2学級ってところも、今ほんまに言ってるようにこの35人から例えば25人とかにしたら、2学級になる学校もたくさんあると思うんですよ。

条例っていろいろあると思うんですね。何か香川県やったらゲーム条例とかもあるけど、あれもほんまにやらし切ってるんかっていう話じゃないですか。条例の拘束力ってどんなもんなんかっていうのを、これほんまに守らなあかんものなのか、それかもしくは議会で承認されたからやらなあかんのか、どっちなんですか。条例の位置づけと議会承認というところの、法的な拘束力。これを覆そうと思ったら具体的に住民はどうしたらいいのかを教えてください。

(区役所1)

条例の拘束力ですね。条例も定め方がいろいろあるんですけども、今大阪市のこの学校の再編に関わる条例でいいますと、やらなければいけない義務になってます。これを変えようとした場合というのは、これはあくまでも条例も含めて決めるのは大阪市会、議会で審議されて決まります。その議会への条例の提案する権利というのは、市長と議会が持ってます。ですので、市長が判断をして、その条例を議会に審議するのか。もしくは、議会が提案して審議するのか。この二つのパターンになってまいります。

(保護者4)

日本のね、主権在民やないですか。要するに民意が先なんですよね。主権在民という意味は。せやけど民意は全然反映されていないのに、何が主権在民なんですか。

(保護者6)

すみません、最後に。もう地域の方もこれだけ反対されてまして、あと子どもたちも不安だという気持ち、さっき聞いていただいたと思うんですけども、条例は決まってる言えど、別に時期なんてこの令和8年にしなくてもいいじゃないですか。ちょっと待

ってあげたり、もっと議論いろいろして、どういうふうに学校を、その間にきれいに、もしかして建て直したらもっと生徒がこっち来たいって言うかもしれへんしね。そこら辺を、やっぱり子供らもそうですし、高齢の方もそうですし、やっぱり地域みんなで勝山というのを大事にしていかないといけないと思うので、令和8年4月で決まってるって、そんなんね、まだ決まってないじゃないですか。条例は決まってるかもしれないですけど、年度なんて決まってないから、そこをちゃんとみんなでもっと寄り添って話し合っ、子どもたちの気持ちも考えて、それからやっていくということを考えていただけませんか。

(区役所1)

本当に御不安な気持ち、すごく認識しております。

ただ、そうしたらいつがいいのかという話ですね。もうここ10年以上前から1学年1クラスという状況が続いています。こういった状況できて、勝山小学校はそうではないですけども、本当に1学年1クラス、1桁しか児童がいないという状況になってという学校もあります。今の時点でできる限り最短でというスケジュールには今なってないですけども、できるだけ早く子どもの教育環境を改善していく。その条例ということをや繰り返し申し上げて非常に恐縮なんですけども、条例ができた背景、趣旨というのがやっぱり子どもたちの環境ですね。小規模なところのメリットももちろんあります。ただ、小規模なことによるデメリットもあります。何を一番最適を求めていくかということ。その議論がなされて教育委員会で議論されて、議会で条例が承認されたという流れになっています。

ですので、今の子どもたち、できるだけ先送りするのではなくて、早くそこを整えていきたいという思いがあります。本当に御不安な点、多々あるかと思えます。地域の方の学校に対する愛着、思い。特に、もう本当にたくさんこれまでも伺ってます。勝山小学校を卒業された親子、二世帯、三世帯という方もいらっしゃるというのも伺ってます。そういった地域に対する愛着、思いというのも十分の間お伺いしてますし、今日もお聞かせいただきました。その辺、本当に不安なお気持ちとか、その辺まちづくり課じゃなくて、まち潰し課というような御意見も頂戴してますけども、そういったことないようにしっかり受け止めて進めていきたいと思ってる場所ですのでよろしく願いいたします。

(保護者13)

勝山小学校は建て替えるとなったら、この地域は言われたように古い家がいっぱいあるんです。そこへみんな、お父さん、お母さんとおじいちゃん、おばあちゃんいうてみんな帰ってきてるんです。もし建て替えて、その噂飛んだら、みんなみんな、言うたらもっともっと子どもも増えるし家庭も増えるんです。こころほんま一等地なんです。勝山北、勝山南いったら生野の芦屋なんです。昔からそない言われてたんです。そのぐらいに、今

の人はこちらへ帰ってきたい人なんです。それをもう潰すいうたもんやからみんな外へ出ていったんです。マンションの人とか。とにかく建て替えるていう、もともと以前の会長のときに建て替えるよって言うて喜んでたんです。それを何かの都合でなくなったんです。それからみんな潰す潰す、条例や何や訳の分からんこと言うて。で、一遍来たときでも私らみたいに分からん者に、とにかく売るらしいですとか何とかかんとか、噂ばっかし飛んでしもうたからみんな逃げていったんです。だから勝山小学校を残す、建て替えるで、それが決まったらみんな帰ってきます。

(保護者 7)

今も話あったけども、行政の責任なんですわ。児童数が少なくなったんが。皆さんが十数年前から勝山は廃校、廃校いふあれを流してやったことを覚えてる方もおられる思うんですけども、それで話合いして地域が反対やったら、それは無しになりますということ言うてたん違いますか。皆さん御存じの方もおられる思うんやけど。

ほんで、さっきも話出したけど、もう東桃谷小学校を先に校舎改装して、勝山は古いのに、何か建物が古いからどうのこうの言うたけど、古いのになぜ教育委員会、大阪市は改装しないんですか。先ほどの方が言われたように、建て替えて、あれ廃校の噂も出えへんかったら何ぼでも子ども増えてますよ。それは皆さんの責任ですわ。大阪市。それで途中で令和2年ですか、条例つくったん。議員さん、大阪市全体で市会議員の議員さんがつくったんでしょ。それに従って皆さん動いてる思うんですけども、その先生方、誰が賛成で。皆分かってるんですか。その賛成した、条例つくった議員さん。市長とか細かいこと分かってますか。ただ数字いじりして、それで条例が決まってるから令和8年の4月開校。こんなこと言うたら若いお母さんらみんな不安なりますやんか。今度、令和8年って、皆さん今10人ほどいてられるけど、何人生野区役所に残ってますか、その担当課に。この方、私らも含めて、みんなここに何十年もいてますねん。皆さんは異動したらしまいです。私言うのは、統廃合してね、皆さんがそれ進めていくんやったら令和8年の4月1日開校、今案ですか、決めてるんですか。どっちの話してるんですか。

(区役所 1)

今、前に映してます。資料22ページですね。今、この左上にある区担当教育次長が作る案、今これです。この案を持って教育委員会に提出します。教育委員会が承認した段階で案が取れて計画になるという流れです。

(保護者 7)

昨年度、生野未来学園が生野小学校とか林寺とか皆来ましたわね。舍利寺は半分分かれましたわね。大池学園ですか、中川小学校のほうに行って、こっちのほうは未来学園に来ているとか。やっぱりみんな不満がありますわ。親もしんどい、子どもは悲しい。子ど

もが一番かわいそうです。親もかわいそう。現実にね、1年以上たって今からどうしようもできない。できないけども、実態をもっと詳しく調べて、区民、市民の皆さんに説明して、これでどうしてもこういうことでメリットもあるから、こういうことやいう説明やったら分かるけども、もう統廃合ありきで話を進めてるから。いつも何か条例で決まっただけで保護者の方言うてますよ。それちょっとおかしいんじゃないかな。後出しじゃんけんばかりやんか。ほんまどの議員さんが賛成してこの区域のこと、大阪市のこと分かってんのかな。この条例を決めた、といった文書とかあるでしょう。議事録。あんなんも一遍提出してみんなお母さんに渡したらどないですか。

(区役所1)

まず、議会の関係でいいますと、これまた見にくくて申し訳ないです。ホームページに載っております。一応、市議会の会派というのがございまして、会派ごとに態度を出されております。そのときの条例案に対する賛否で、私の今記憶だけで申し上げますと、大阪維新の会、それと公明党。この2会派が賛成で、当時の会派の名称は今正確ではないかもしれないですが、自民くらしと共産党が反対という態度だったかと思います。

それとあと、お子さんですね。本当に不安、地域の方も不安だと思います。昨年4月までに再編をした生野区内の学校で申し上げますと、再編した半年後に児童本人、児童と保護者の方にアンケートを教育委員会のほうが取っております。そのアンケートの結果でいきますと、子どもが増えてよかったという声が多いということと、学校に慣れるのにどれぐらいかかったかというのを、お子さんは非常に早いです。もう1か月から3か月の間に新しい学校に慣れたという意見はアンケートとしては頂いているところです。

これは今、だから大丈夫ですという、それを明言するつもりで申し上げたのではないんですけども、おおむねこの生野区だけじゃなくて、ほかの区で統廃合してきたところ、そのアンケートの結果を見ましても、子どもが慣れるの早いという、これはもう全ての学校において見えてきてるところではあります。

(保護者3)

令和8年4月の統合ありきやないですか、結局。話は結局そこなんです。それをただ先送りするんですかっておっしゃいましたよね。今まで10年、何年かけて話してきて、ここからまだ先送りするんですかっておっしゃいましたけど、その間に1学年しかいなくなるかもしれへんみたいなこと言ってはりましたけど、もっと議論して子ども増やす努力しませんか。そうしたら統合ありきじゃなくて話進めませんか。統合しなくてもいいように、学校の建て替えもそうやし、地域の方が増える努力もそうやし、子ども増やす努力も何もしてないのに、令和8年4月から統廃合します、勝山小学校なくなります。もうそれありきですっていう、そのこと自体がもうおかしいと思います。ちゃんと子ども増やす努力しましょう。その辺りはどうやってお考えですか。

(区役所 1)

子ども増やす努力、これごもつともです。これ本当にいつでもそういった御意見頂戴します。この学校再編の話だけでもないです。

ここで本当に恐縮なんですけども、区役所としてできることという意味でいうと、子育てしやすい町にするために、私担当ではないですけども子育てに関する支援の組織のほうでもいろいろ取組を進めておりますし、子育てしやすい、子どもだけじゃなくて町の活性化に向けてという取組は、この地域まちづくり課の中でもやっています。先ほど申し上げました空き家対策で住宅の建て替えの促進などですね。そういったこというのを様々、区としてできる取組はできる手だてやっていますので、また新しい提案ですね。今、学校を残してという御意見お持ちの方がたくさんいらっしゃるかとは思いますが、それ以外にもそういった御提案というのございましたらどんどんお聞かせいただければと思いますので御協力のほどよろしくお願いいたします。

(保護者 3)

私の課じゃないって言うのやめてもらえますか。子ども家庭庁できたんですよ。子ども真ん中の世の中にするんじゃないんですか。そうやって担当割して縦割りにしてるから、それ行政の悪いとこなんです。縦割りにしてるから私知りません、右のことは知りませんで、そうじゃなくて、地域のことなんですからもっとみんなで力を合わせてちゃんとやっっていこうっていう意識を持ってください。

(区役所 1)

申し訳ございません。非常に不適切な発言だったかもしれません。今日たまたまその担当が、ここに子育て支援室の人間がおりませんもので、そういう言い方をさせていただいた次第です。きっちりとした御意見、区内で共有していくというのは十分認識しておりますのでよろしくお願いいたします。

(保護者 1 4)

すみません。遅い時間なのに意見します。1月の説明会に参加させていただいて、もう何を言っても条例や条例やということで、条例がよほど立派なものなんだろうなと思って、何か抗えないものかなと思って、3月頃から区役所のまちづくり課に行って意見したりもしました。でも全くもって、やっぱり条例なのでの一点張りでも何ができず、悔しいので、個人的に市議会議員さんに御連絡をしてお話を聞いていただくことが1回ありました。

そこで話を聞いたんですけど、もう大阪議市会は維新が単独過半数を取ってしまっているんで何を言っても無駄やと。区役所の方々も、もう本当に胃を痛めながらお仕事を

されていて大変なんだということをお伺いしました。今、まさに針のむしろやなと思っ
ながら見てるところなんですけれども。

単独過半数を維新が取ってしまっていて、もう待った無しでどんどん進んでると思っ
んですけど、今、意見として住民投票しましょうとか言うてくれはったんですけど、署名
とかそういうことって有効なんですか。もう全く無意味なことで、そんなものは紙きれ
でぼいって捨てられて、もう条例、条例の一点張りで進んでいくんでしょうか。令和2
年、3年にできた条例やったら、それを覆す条例を今からつくることってできないん
でしょうか。維新がいてる以上無理なのかもしれないですけど、そういった学校って本当
に大事なものだと思いますし、御存じか知らないですけど、大阪で統廃合に反対して自
殺した小学生の子がいました。そういう事件もあったので本当に統廃合に関してはセン
シティブな問題だと思います。なので、大人の事情で予算とかいろいろあると思うん
ですけど、そんなことで推し進めていくんじゃなくて、何か地域の人意見を聞いてい
ただける署名なり、住民投票なり、そういう手だてがあったら、区役所の方に教えてもら
いたいなと思います。

(区役所1)

まず、住民投票が、これはもう本当に申し訳ないですけど、住民投票があったとしても
条例が勝ります。あと、署名につきましては、これは署名じゃなかったとしても議会に対
しての陳情という仕組みがあります。大阪市会、議会ですね、一応開かれた議会を目指
すということで、陳情を受け付けるという仕組みがありますので、それはまたホームペ
ージとかで御覧いただければ載ってるかと思います。

(保護者4)

皆さん方に提案いたします。8年になくなる。待ってくれませんか。みんなで勝山いい
まちづくりしませんか、先に。勝山においてよかったなというまちづくりをして、そし
て、はい、たくさん天王寺区からも入ってきたよ、こっちからも入ってきたよというよ
うなまちづくりをやります。それまで8年という年月を切らないでください。

(区役所1)

ありがとうございます。そういった取組、町に入ってくる取組、これ我々も一緒にやっ
ていきたいと思います。

ただ、繰り返し恐縮です。この学校の統廃合、子どもが主役です。こちらについては条
例で定められて、もう本当に繰り返しで恐縮です。これで子どもの環境を改善するとい
う観点でやっていきたいと思います。

ただ、本当にまちづくりに関しましては我々も一緒にやっていきたいと思っており
ます。協力できること、一緒にできることありましたらよろしくお願いします。

(保護者14)

すみません。私初めて来たんですけれども、こういうふうな会をしてるって知らなかったんですよ。私もこの地域に住んでるもんでね、大きいことやと思って来させてもらったんですけど、先ほどから出てきてる、やはり空き家のことだったりとか、よく考えたらだんだん人口減ってきますよね。

そこで、うちの母親なんかもそうですけどインターネットをしてませんわ。どこから情報得たらいいですか。知らん間に我々おるときに、もう本当に知らん間に全部進んで、え、こんなことになってるで、え、こんなことになってるで。いや、何も知らん間に決まってたわっていうのが実はほとんどの人らなんですよね。うち、例えばもう商店街ないですけども、商店街の人間ですけどね、せやけどもほかの周りの人ら聞いても同じ状況なんですよ。え、そんなことあったん。で、先ほどから出てくるホームページ見てくださいますかと言われて、はっきりいって冷たい政策やなと思うてね。いつもやっぱりそういったところ、ホームページ見てくださいますというの行政の今の主体やとは思いますが、実際のところ年寄り世帯であったりとか、もうここら辺に来てはる人らっていうのはいろんな情報得てるからあれやと思うんですけど、ほとんど9割以上は状況知らないですよ。知らない間に、え、なくなったんっていうのが現状なんです。もっと言ったら、私もそうなんですけども、その桃谷中学校、勝山中学校のことになったらもう知らなかったんですよ。後でいろんないきさつだったりとかを聞いたっていうのが現状なんです。もっと情報を我々に発信できないですか。それこそインターネットとか、そういうふうな情報じゃなくて、例えばいろいろ広報にも書いてるかもしれませんが、ほとんど見えてない。例えば、街宣車じゃないですけども、PR車でもいいんですよ。何かこういったことをやりますと。正直な話、何か1回ね、大阪市を潰すっていうて維新が言い出したときは、よう街宣で走ってました。やりますよ、やりますよ言うてたけども、この説明会に関して私知らなかったですよ。友達がたまたま今やってるよっていう話聞いて、今帰ったけどもって言うて、え、そんなんやってたんって言うて、雨の中来たんですけども。だから情報を全く知らない。それを行政の方はどう捉えてはるのかなと。それこそ我々は全然知らないし、それこそ初めてきてこういう状況やというのを知った。もっといると思うんですよ。それこそ地域全体が反対やいう人のほうが、逆に言ったら多いはずなんですよ。せやけども、もうサイレントマジョリティーですか。ほんまに知らないんですよ。知らない状況の一般の中で、知らん間にもう加担してる状況。それ加担させてる状況でもあると思うんですよ。だからインターネットで発信しましたから、だからあなたたち知ってないとおかしいでしょうっていう体勢でいてはったら、知らん間に我々も、正直な話、我々が今不利な状況にあると思うんですよ。

だからもっと発信の仕方とか、いろいろとまちづくりとか言うてはるけれども、そのところをどうやってやっていくか。インターネットでこうしましょう、ああしましょ

うじゃああかんのじゃないかなと思うんですよ。

それこそ、それで公表しました、こうしてください、まちづくりこうしましょう言うたかって、ホームページに書かれても我々住んでるところ、正直な話、周り町会なんかでもお年寄りばかりです。どう改善できますか。ホームページに書いて、こんな政策してますよ言うても、それに手挙げれる人って正直なところインターネット見てる人だけやと思うんですよ。だから、それに関しての細かいところの掘り下げも何もなく、いきなりもうインターネットだけで見てください。すごく冷たいやり方かなというふうに私思うんですよ。

だから、そこってというのは改善策ありますか。なかなかそれっていうのが今までのこの行政見てると、なかなかどこの市とかどこの区でも同じやと思いますけども、少なくとも何か冷たいかなと。年寄りとか、それから何も知らない情報源がない人なんかに対しての冷たさ。それが今回何か如実に表れてるかなと。だからそういったところ、改善策、恐らくある言うても、最終的には見てくださいやと思うんですよ。でも、見てください言うても見られない人もいるという事実は、もうお知りなのか。それはもう封殺してるのか。そういうような感じにちょっと私は捉えてしまうかなというふうに思います。

だからこそ、もう本当に今日緊急にやってるということを聞いて来させてもうたんですけども、情報知らないとか何もない、分からない。一般の、例えば勤めてる人なんか、例えばですけども、17時、18時に帰ってくれる人ってもうほとんどいないと思うんですよ。だからここに来れる人っていうのはもう本当に少ないと思います。そういった人に向けてでも、やっぱりいつやってるかって分かってたら、それやったら逆にこういうことやってんねやったらちょっと仕事休んででも行こかとかかなと思うんですよ。だからそういうようなことを我々知らなければ何もできん。だからこそ私も思ってるのが、もう40代後半ですけども、何も手助けもできないし、何も伝えることもできない。結局今の今まで分からずじまいの話っていうのは、本当にこういう状況っていうのはいつ生まれたんかなっていうのが。もっともっと情報を発信してくれたりとか、それから何か公表してくれたり、それからこんなんやってますよとか、そういったところアピール不足ではないですか。正直なところ不足してるかなっていうふうに思うんですね。だから知らない人、本当に調べたらもっといると思います。私も母親も、今初めて、たまたま友人から連絡もらって、こんなんやってたいうのを聞いてそれ来たぐらいやったんで。それまで知らないですよ。母親に聞いても、え、そんなんあったんっていうふうな状況なんでね。本当に発信できて、だから、広報であるとか、そういったところも含めていろんなところが機能してないと思います。本当に。それはちょっと考え直していただけたらなと思います。言うてもすぐできる問題やないとは思いますがけれども。

(区役所1)

ありがとうございます。この情報の伝わり方、これはこの学校再編の話だけではなく

て、本当によく頂戴する声です。これ区政会議というのものもあるんですけども、多分これも御存じない方たくさんいらっしゃると思います。区民の方に集まっていただいて、区の運営に対するテーマについて御議論いただくという場があるんですけども、その中でも情報が伝わっていない、知らなかったという御意見、この間頂戴してます。

区としてできる情報をお伝えする手だてとして今取ってますのは、広報誌。例えば、この学校の再編の話ですと、今のこの分は広報誌に、今日の説明会の分は広報誌には載せてないですけども、地域への回覧板のお願い。これも町会に入っていないと回覧は回らないと思います。そういった回覧板、ホームページ、SNS、あと保護者の方へは学校を通じて配付、未就学児の方には個別に区役所から直接お手紙をお配りしたという形になってございます。

(保護者14)

少なくとも年いってきた人らはやっぱり、見ても抜けてしまうと思うんですね。やっぱり視覚的にであるとか、そういったものというのは僕さっきも言ったと思いますが、何かPR車であるとか、そういうなのを使っていつやっていますとか、そういうような努力できますよね。それしてはりますか。

(区役所1)

はい、ありがとうございます。今日こういう説明会をやりました。いただいた御意見、主な御意見とか、そういうのもまたチラシという形を作って、また各町会で回覧のお願いとか、そういうのをやらせていただくというふうに思っています。できる限り伝える形で努力というのはやっておるんですけども、なかなか伝わっていないという御意見たくさんいただいていますので、改善で……。

(保護者14)

だからやっぱりほかに訴える手段というのが別にあるはずやと思うんですよ。古い人っていうのは、特にやっぱりさっきも言うてたけども、回覧板で回す。それは見ると思いますが、一瞬見た記憶というのはずっと残ってるわけじゃないですし、やってるんやって思ってそのまま抜けてしまうことも多いと思うんですよ。だから何かもって残るものというのを欲しいんですよ。だからチラシ以外にも、チラシ、インターネット以外に何かあるんじゃないかっていう提言なんですよ。そこを何か、今までの既存の方法ばかり考え過ぎてるから、我々情報入ってけえへんし。例えば、こういうふうなものであっても伝わってけえへんから、ここ来えへんかったら分かれへんわけですから。そんなんも含めて全部が全部我々知らないですよ。それをやっぱり知ってもらわんとあかん内容やと思うんですね。それをもっと努力してほしいと思いますよ。

(区役所 1)

はい、ありがとうございます。できる限りそういった改善できる点というのを探っていきたいと思います。

(保護者 6)

すみません。前回の多目的室やね、多目的室で説明があったときに、あのときに広報とかそういうのに載せまして言い合ったのに全く載ってないんですよ、統廃合のこういう話がありましたとか。そんなんも載ってないですし、小学校の横の掲示板ですら、役所に母が連絡してこういうのありますよって、貼ってくださいって言ったら、めっちゃその家に回覧板で貼ってあるような小ちゃい紙でペトって貼られただけなんですよ。そんなみんなもうお年寄りの方見えません。それはやっぱりやってはいけないことだと思います。ちゃんと回答、こういうのをやりましたっていうのを出すって約束されたんだったら、ちゃんと出していただかないと、検討します、検討しますでずっとこのまま続いたら絶対駄目だと思います。

(区役所 1)

はい、ありがとうございます。1月27日も私が多分御説明申し上げていると思います。ただ、これはもう言った、言わないになるのであれなんですけども、広報紙には載せてないです。ただ、1月27日の説明会の内容については、私どもの説明部分についてはホームページでYouTubeにつながるようになってるのと、あとそのときの質疑応答の内容については議事録にしてホームページに載せてる状態です。そういったことも含めて改善していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(保護者 1)

すみません。この説明会と、説明に対していろいろ回答していただけてますけども、これは今日で最後ですか。

(区役所 1)

本日の計画案をもって、今日説明会をさせていただいて教育委員会に提出するという段取りになってます。

(保護者 1)

何か共産主義みたいなやり方ですよ。違います。

(区役所 1)

我々としては、まちづくり協議会でお時間を頂戴して御説明をさせていただいて

まいりました。それと保護者の方につきましては、1月27日に説明会をさせていただいて御意見を頂戴して、その御意見に対してできる対応というのを検討した上で今日御説明申し上げているという状況です。

(保護者1)

いや、ですのでね、あれはもう勝山を廃校にするっていう話だけですよね。案とかそういう問題じゃないですよ。意見なんか、僕らの意見なんて全然ないですよ。聞いてくれてないですよ。結果的に今日で最後。それで教育委員会が承認したら終わり。これで皆さん納得できますか。これ、主権はどこにあるんですか。市民なんじゃないんですか。決めてんのは維新が決めてるんですか。じゃあ、維新はね、地域の反対を無視して統廃合を進めますっていうようなことを言って選挙をやりましたか。違うでしょう。こんな決め方って、ねえ、皆さん。これ納得できますか。できませんよね。これを押し切ってやるとおっしゃったんです。そういうことですね。そういうことですね。皆さん聞きましたか。これ、もう僕ら何もできないっていうことですよ。じゃあ説明会なんか意味ないじゃないですか。

(区役所1)

皆さんがこの勝山小学校が廃校になるということに対する思いというのは本当に繰り返し、今熱い御意見頂戴してます。

ただ、これ本当に恐縮です。条例という言い方をあえてさせていただきますけども、これ条例できた背景、趣旨、これがあります。そこで議論繰り返されてきました。その上で成立しているといいますか、制定された条例になりますので、その条例の手續にのっとって進めていくというのが我々の責務と考えています。

ただ、学校がなくなることに對するお子さん、保護者の方、地域の方の不安の声。それをできる限り取れる対策、対応というのをやっていくのが我々の責務と思っておりますのでよろしく願いいたします。

(保護者1)

先ほど私言いました。学校を潰すのではなくて、活かすというやり方ができませんかとお伺いしました。御意見ありがとうございます、検討します、参考にしますとおっしゃいました。でも、参考にしないんですよ。

(区役所1)

すみません。曖昧だったかもしれません。学校を活かすという部分に関しまして、まず、勝山小学校を東桃谷小学校と統合するという部分。これについてはこの方針というか、今の計画案ですね、教育委員会に諮るといふ。その部分について変更はないです。

ただ、今それまでの勝山小学校、当然、令和7年度末まで、8年4月までお子さんも保護者の方も不安を抱えていかれると思います。そこに対する不安の解消で、統合後、再編後の不安の解消。そこについてしっかりと検討していくという趣旨で申し上げたつもりではございます。ただ、分かりにくくて申し訳ございません。

実際にそれをどういう形でやっていくかというのは、資料の中で今前に映ってます学校適正配置検討会議、この中でもしっかりと地域の方、保護者の方、意見をお伺いしながら進めていくということになってまいります。

(保護者1)

でも聞いても無駄なんですよ。

(保護者15)

この間、区役所へこの会合があることが伝わってないので問い合わせたんです。そうしたら、この会議で最後ですって何回も繰り返して言われました。決まったことですから、と。この会合は地域のみならず集まって話すのは最後ですって言われましたよ。

(区役所1)

失礼いたしました。この説明会は今日この場で説明ですけども、御意見をお伺いするのは計画ができてから適正配置検討会議、こちらでも意見をお伺いして進めていくという分は残ります。これは先ほど来申し上げてます、条例に定められた手続としてやってまいりますので。

ただ、これも今詳しくこの資料では書いておりません。これもその会議に出ていただくメンバーというのは、学校から推薦いただいた方と地域、まちづくり協議会から推薦いただいた方、そういう形でやってまいりたいと思います。

(不明)

学校からの推薦、どういった人が推薦されるものなのか。

(区役所1)

はい。基本的に保護者という。保護者の方という意味です。

(保護者3)

未就学児の親はどうするんですか。

(区役所1)

未就学の方の場合は地域から推薦いただくという形があるかと思っております。

(保護者13)

この前、勝山地域三丁目をうろうろうろされてたんです、男の方が。自転車に乗って。今不審者が多いから、どちらさんですかって言うたら、まちづくり課の職員ですって言われて。勝山南三丁目は区役所ですよ。そこまで分らんのかってとにかく言いました。そんな人らがまちづくりやってもらったら、本当に大変なことです。区役所で何年目ですかって聞いたら、もう大分中年の方でした。名前聞いといたらよかったんですけどね。勝山南三丁目、どこや、うろうろ、ガードを越したら天王寺区やでって。それ知らんから教えたんです。その人あんまりうろうろするから、どちらさんですかって言うたらまちづくりやって。そんな人が選んだ人って、どないして。もう腹立ってもう、すみませんけど。まちづくりの職員でもうちちょっとしっかりした人を選んでください。

(保護者16)

まず、私、生野で生まれ育ったわけではないのでよそ者なんですけど、私の生まれ育ったところでは小学校が消滅してしまいました。そうしますと文化的にも地域にとって非常にマイナスなんじゃないかなというのをすごく実感してまして、やっぱり何らかの形で残すっていう道を探っていただけるんじゃないか、そんな意見が今日皆様から出てきても、ちょっと期待してたんですけど、やはり決まった方針は変えられないのかなという思いが一つあります。この辺は何か残されてはないんでしょうね。ないんでしょうかって聞きたいんですけど、ないんでしょうね。

それと、少人数学級があまり競争意識がないとかっていう話もあったんですけど、逆にそれを売りにして、この学校を大阪に一つ造るといのは逆転の発想でないのかな、というのをちょっと今回来て思いました。

それから、14ページのところでAからFで緑と青の縦長の校区分けの図があったんですけど、基本、私学校はこのままで残していただきたいなと思うんですが、ここでいうとD、一番右側ですね。に投票したかと思ってます。ていうのは、私の職場の同僚でも統廃合があったということを聞いたんですけど、やはり全部一緒くたに、もし統廃合して隣の学校に行くんであっても分断というのはない。そういう選択はなかったっていうのを聞いたんですね。これってやっぱりいじめの問題とか、先ほどジェンダーとかいろいろ問題ありましたが、やっぱり親としてはいじめが非常に心配でして、そういったのをなくすにはやっぱりDなのかなと。

次の15ページですか。ここで言うと、中段ですね。中段と下段なんですかね。未就学児がいる世帯、きょうだいがいる世帯と未就学児がいる世帯、これで言うと生野西一丁目と二丁目は緑色が顕著に多くなっているのは、やはり近くに小学校があるべきだ、それはお母さんの意見が非常に色濃く出てるんじゃないかなと。やっぱり送り迎えですね。

14ページ戻ってもらっていいですか。今でも勝山って南北に細長いんですよ、校

区が。ちょうど勝山小学校は真ん中に位置してるんですよ。だからバランス悪い中でも比較的バランスが取れてるのかなと。で、私は今、生野西一丁目に住んでるんですが、勝山でも遠いと思ってるのにもっと遠いところになると、しかも勝山通りを渡っていくというのがうちの息子にはなかなか慣れるのは親としては心配だなというのがありまして。そういった面も含めるとどうなのでしょうね。やっぱりこの勝山というのは、この地域をこのまま、これ以上衰退させないという意味でも残す価値は、残さなきゃいけないんじゃないかなとちょっと思ってます。

で、あと最後に思っただけ。質問ではないんですけど、28ページ。先ほどもおっしゃってましたけど、やっぱり全部廃校で全部壊して全部建てるではなくて、そもそも人数少ないんですよ。こんなB棟、C棟、D棟って要らないわけですよ。どこか一つ壊して、どこか一つに集約して、先ほどプレハブでもいいじゃないかという話があったんですけど、人数少ないんだったら平屋でもいいんじゃないかなと思って。そうしたら耐震とかそういうのも関係ないので、お金のほうもそんなにかからないんじゃないかなと。講堂棟ですか、その南側にちょっとした空間ございますよね。このスペースに2階建てぐらいで十分事足りるんじゃないかと。正門も今、北側にありますけど南側の門開けていただいたら、動線はそんなに問題ないんじゃないですか。まあ運動会とかできなくなるのかもしれないんですけど。一時の問題なので。あと事業者、云々かんぬんおっしゃってましたけど、これ仮に事業者がお金儲けに走った場合、地域の住民は何か使うときに使いにくくなりませんか。そんな事業者選びませんという答えはすぐ出てくると思うんですけど、今日の会議だとあんま信用できないんですよ。そのときはそのときの風が流れますみたいな感じで終わっちゃうんじゃないかと思って。ていうと、やっぱりその事業者が決まってこういうことをやりますっていう計画があって我々に選ばせてほしいんですけどね。役所なんでそれできないのは重々承知ですけど。予算の問題だとか条例だつて出ると思うんですけどね。でもそれしないと我々納得できないですね。

最後になんですけど、やっぱり生野区の小学校通わせたくないなって今日思っちゃったんですよ。できれば天王寺区行きたいですね。まちづくりの方いらっしゃるのかどうか分からないですけど。天王寺区の小学校に行ってもいいですかって言うと駄目って言うんですよ。これまたずるいですよ。そうすると僕税金払いたくなくなってくるんですよ。いやもう勝手に給料から引かれるんで無理なんですけど、そういう納税者の思いもあると。納税者ですよ、一応僕。なので、そこはちょっと組み入れてほしいですね。

で、やっぱりこれ残すってなったら建て替えしていただくという方向になって、予算のほうは何とかなるんじゃないかなろうかと。東桃谷小学校ですか、そちらの改築費をこちらに回すっていうのでも行けるんじゃないかなと思うんですけど。どうなのでしょう。

(区役所1)

いろいろありがとうございます。

最後におっしゃっていただいた東桃谷の経費をこちらで対応できるんじゃないかといった点、これにつきましては東桃谷小学校は躯体というか建物自体を触るわけではなくて内装を変えにいく、空調を整備する。そういった工事になってまいりますので経費的にはそんなにかからないんです。逆に建て替えとなると、本当に先ほども話ありましたように、1億、2億とかいう話ではなくて、もっとかかるお金になってまいります。

ですので、今まずこの条例の話は置いておきまして、今実際に建て替えるかどうかという現実的ではないというのがお答えになってまいります。

それと、本当に申し訳ないんですけども、区をまたぐ学校選択制というのは今制度としては存在しておりません。ただ、校区として区をまたぐというのは物理的には不可能ではないです。ただし、環状線を挟んだ天王寺側は児童が入り切れなくて今ぱんぱんの状況です。なので、天王寺区との関係で校区を調整というのは、これは現実的でない。天王寺区側に入られているところが、ここ勝山小学校と同じです。この小学校に行きたいからということで転入されてきているという話を伺っていますので、ですので校区を天王寺区の例えば玉造筋から東、環状線との間をこちらの校区に持ってこれるかという、それはなかなか厳しいのではないかという認識を持っていますので、区をまたぐ分というのは非常に現実的ではないかなと考えているところです。

(区役所2)

先ほどおっしゃっておられました事業者、儲けに走るようなことがあったらどうするんだという。事業者のほうで儲けに走ったらどうするんだというようなことをおっしゃっていただいたかと思えます。その点については、我々責任持って事業者の選定のほう進めてまいります、その前に跡地のほうの活用に関する御意見頂戴する会議もふんだんに開催していきたいと思っております。

その上で、活用の計画をつくって事業者のほうを公募しまして決定していくと。事業者のほうに対しては、地域に根差した地域貢献する事業者ということはもちろん選定の中に入れてまいりますので、その旨で決定してまいりたいと思っております。

(保護者14)

事業者の話ですけども、よく大阪市内ふらふらと行くんですけども、元市もしくは府の跡地、もう大分箱ものを潰した跡、よう見たらマンション建ってますよね。結構な率で。それで、それ考えたらこんなでかいところあったらタワーマンション一つでも建つんじゃないですか。それって地域の利になりますか。例えば、そこで人口増えたとしますやん。子どもらが増えたとしても、結局は新しい学校に行くだけであって、その土地使われてもうたら、もう勝山小学校はなくなるわけですよ。結局何かそんなんで最終的に地域活性化したと言われても困るしね。何か見てたらやっぱり大阪府、結局やっぱり入札

の関係上、どうしても言ってみたら大手の土地会社がよう買ってますわ。そういったところで最終的に見て、天王寺区なんか結構多いなと思ってるのが、やっぱりタワマンとか建ってますよ。夕陽丘のこの府の何やったかな、知らん間に何かマンション建つとるぞとか、結構大阪市内とか見てると多いし、それこそたまたまいろいろこの辺りはそれほど公の施設が潰れることはあまりなかったとは思いますが、少なくとも天王寺区に近いとかね、そういう立地面がいいとかいうて、またそんなんでマンションとかの建築されたら、結局何やったんやちゅう感じに陥るとは思います。

だから、感情論としてはやっぱり私らは反対するって、そういうところも根底にもありますよ。

それともう一つ思ったのが、別件ですけどね、これって学校の先生賛成してますか。学校の先生いうたら市の職員やから関係ないとは思いますがね。ふと思ったのが少人数やから1クラス単学級で少ないから減らせ。それで例えば大きくなってきたら、例えばその新しい小学校は多分小規模から中規模の学校になるのかな、人数見たら中規模かなとは思いますが。せやけども、何かそこにも絡んでくんの、何か大阪府の変な人件費の削減とかね、教員要らんねんとかね。だから結局何か言うたら、そういうふうに減らしていったら、最終的にろくな教育でけへんようになってくるんちゃうかな、大阪市が。切って、切って、切って、切って、最終的に残った学校ってどうなんのんって。そこに教員何人おるのみたいな感じになってくるやろうし、実質今学校の先生が足れへん状態やから、学校減らしたらそれだけ雇わんで済むよなっていうふうな短絡的なところの人件費の節約って言ったらかしいけど、そういったところにも感じられるかなというのは思うんですね。これは私のうがった見方かもしれませんが。でもやっぱり、どうしても先ほどの質問にもありました、少人数の学校っていうのを造るべきところはあるんちゃうかなと思いますね。それこそやっぱりそういった特色というのを根差すというのは、それこそ教育委員会に訴えるべきじゃないですかね。教育委員会にこの案を持って行って、これで教育委員が可決するというんじゃなしに、また別案としてそういうふうな案っていうのを出すべきじゃないかなと。それこそ少人数のほうが、先ほど教諭がどうのという話も出てきたと思うんですけども、大人数で例えば40人、50人、今30人なんかでもかなり人数多かったら、正直、学校の先生見れませんよ。1クラス30人、ふうふう言いながらやってると思いますわ。その中で、そんな学校を増やすんですか。そこで例えば、それこそいじめであったりとかしたときに、目も当てられへん、見れてませんでしたということになるような学校を造ると思うんですね。すみません。こんなこと言うのもあれですけど、私教員なんです。だから教員の立場からして、やっぱりおかしいなっていうふうな感じは思います。

だから少人数がいい、悪いというのはいろんな論議あると思うんですけども、少なくとも少人数のメリットというのはすごくあると思うんですよ。だから、今の現状を残すというのも選択肢としてはありやろうとは思っていますよ。無理やり本当に30人学級を

やったからいうて、それが子どもたちのためになるんですか。それこそ地域のためにならない。子どもたちのためにならないということは、今子どもらっていうのは10年後、20年後、ここで背負って生きてく人らですわ。その子らがうまいこと育てへんかったら、それこそ地域活性なんかかなり得ないですよ。だからこそ、今少人数、こんだけしかないから学校減らしますじゃなしに、この子らを地域に根差したことをさせていくためには、この学校を活かしていくっていう選択肢っていうのはあると思うんですよ。だから少人数、あるべきじゃないですか。それこそ。そういうふうに思いますけどね。どうしても地域の人数でそういうような縛りはあるとは思いますが、そういったところというのはやっぱり学校の先生の立場からして、だから小学校の先生らなんかでもどうか知りませんよ。大阪市の教育委員会の教員の考えは知りませんが、少なくともいい顔はしてないと思いますよ。学校教育ないがしろにされているというふうに思うてる人っていうのは多いと思うんですよ。

だから、そういったところを、言ってみたら条例というものでふたして、ほんまに数の暴力いうたらおかしいですけど、そういう感じにしか受け取れないですよ。

だから、ほんまに地域、もしくは教育者の意見聞いているかっていう話はやっぱりあります。だから、先ほど出てきたPTA推薦人、誰推薦してんねんとか、いろんなところで無理な、何か違和感を感じるなと思いますね。私初めて来ましたが。こういうところで。ちょっとおかしくないですか、いろんなところで。

(区役所1)

私、行政職なんで直接学校教育に携わってはおりません。ただ、この間いろんな学校の先生といろいろ直接話を伺ってまいりました。

繰り返し申し上げてますが、小規模の学校、いいところたくさんあると伺ってます。しっかり目が行き届く。ただ、何か一度問題が起こってしまうと本当に6年間続いてしまうと。そういうリスクを抱えているということ。これ直接お伺いしている話です。

それとまた別の話で、どれぐらいのクラス数があればいいかというのも何人か先生にお伺いしました。それで言いますと3学級という意見が一番多かったです。その3学級はなぜかというのが私説明、冒頭に申し上げました。今若い経験年数短い先生が増えます。そういった中で、半数が経験10年以下の教員です。大阪市の学校。その中でやっぱり1人、1クラスしかないところにも、そういった教員配置されますけども、そこで1学年見ないといけないという状況よりも、3クラスあってベテラン、中堅、若手というバランスよく配置できればいいですけども、人数的にきっちりそうはならないですけども、そういった形で同じ学年団を先生として持てるというのが、やっぱり理想じゃないかといった意見。これが私がこれまで聞いた中で一番多かったというのだけ御紹介させていただきます。いろいろ考え方あると思います。これが100点の正解だというのはないかもしれないと思っておりますし。

あと、跡地の関係でマンションができてるところ多いです。実際多いです。大阪市内中心区はほとんどのところがタワーマンションできてます。生野区の場合でも、例えば一定の空いた、一定の敷地があるところ、空き地が出た場合、非常に期待して見守っておりますけども、実際にできるのが老人福祉系の施設、それと単身者用のマンションで、世帯向けのマンションはここ正確にはすみません。ここ5年以上、この生野区西部地域ではできてないという現状があります。

ただ、そうだから売るといふものではありませんでして、先ほど事業者の話もありましたけども、そういうことのないように跡地をしっかりと活用方法考えて、地域の皆さんと一緒に跡地を守っていくというのが大卒の考え方になりますのでよろしく願いいたします。

(保護者10)

20ページにね、この勝山小と東桃谷小学校の再編の人数書いてて、心配になったんが、これほんまはもう残していきたいのはやまやまなんですけど、これ全部2学級で、これR8、R9、R10と、またこの人数減ってるじゃないですか。これでまた11学級になったら、またこの再編計画に乗るっていうのがすごく心配でね。もう生野未来しか、この生野の西地区、学校残らへんのちゃうかなと思うんですよ。僕自身もこっちに来たときに、やっぱり学校があるっていうのでわざわざまあ言うたら、前ここおばあちゃんがおったんでね。おばあちゃんが勝山小出身でしたわ。ここに学校も近いし園も近いから家建てへんか言ってもらってこっちに越してきたんですね。それぐらいやっぱり若い世帯が来るのに学校ってすごく大事やと思うんですよね。

前におられてる方も本当に仕事でね、もう議会で決まったことを遂行せなあかんてっていうのは、先ほどのお話でもよく分かって、もうこんな時間まで付き合っていていてるなというのは、さっきも私もひどい言葉を浴びせたところは申し訳ないなとは思ってますけども。その辺りもね、やっぱり本当に何か住民からの意見、やっぱりこれ勝山校区だけに限らんとと思うんですよね。ほかにも多分出てくるやろうし、将来的にほんまにこの子育て、今岸田さんも言ってるようにどんどん手厚くなってきて、じゃあ子育て世帯がどこ選ぶねんてなったときに、ほんまに大阪市生野区選ぶんかなっていうところの危機感はね、やっぱりそれぞれの区ごとでそこは考えていってもらわんとあかんと思うんですよね。でないとほんまに過疎化していくと思うんですよ。これどんどんまた減っていくと思うんですよ。

これね、ほんと隣の区はどんどん学校数というか生徒数、児童数増えていってますよね。マンションも建っていったるからね。じゃあそれ収容し切れへんてなったら、その子らどうするんですか。ていう問題になりますよね。そのときにもやっぱり勝山小のこの場所っていうのは、やっぱり残しとくべきやと思うんですよね。その業者とかじゃなくて、今の子どもたちは最悪勝山小に統廃合なったとしても、ここ新たに学校としてね、もう一

復活する可能性もあると思うんですよ。環状線またぐだけやから危ないじゃないですか。うん。そこは本当に合理的に考えてもそっちのほうがいいんじゃないかなと思うし、やっぱりそこは大きく届けてもらいたいし、我々もやっぱり議員さんに届けていかなあかんのかなというのはすごく思うので、この跡地の活用だけでもね、ほんまに慎重に考えてもらいたい。後々、今は子どもの数も減ってきててなかなか単学級でというところで厳しいというのは、もうしょうがないかなというのも少なからずあるけど、やっぱりまたここが学校として復活できるっていう道をね、探っと思ってもらいたい。ほんならね、区を、言うたら区も再編される可能性もあるじゃないですか。維新さんも言ったじゃないですか。何か区を再編するとかね、いろいろ。都になんのかな、都構想とかも言ってはったし。そういうところの枠組みも越えてやっていくところも含めて、市民みんな投票してると思うんです。ほんまに今のまま見てたら、勝者、弱者とかね、少人数にすごく厳しく冷たくて、本当にボリュームゾーンに受ける政策にしか見えないですわ。実際に我々もう少人数派やから、ここ。この意見がほんまに通れへん。これ我々がね、投票した結果と言われればそうやねんけど、やっぱり見えてないところが多いと思うんですよ。いいところばかり言って、実際に知らんまま、先ほどの方もおっしゃってたけど、知らんまま勝山小学校なくなってる。何でこんなことになってんのって、うん。みんな分からんと思うんですよ。維新単独過半数取ってるからやりたい放題。ここもやっぱり市民の目は向けていかなあかんと思うけども、本当に今言ったように、ちょっと勝山小の跡地だけでもね、せめて。また学校としての活用の時期ってくると思うんです。そこも探りながら一番ね、右手に座っておられる方が言ったように、業者選定とかも含めてやと思うんですけども、その辺り、勝山小学校がまた戻ってこれるような可能性も探りながらやっていってほしいなと思います。

ここからね、ほんで勝山中も、もう桃谷中になったじゃないですか。このまま行ったら、学校名はもし統合になったときは、学校名も東桃谷小のままですか。まだ決まっていないんですか。

(区役所 1)

学校名は、これから学校適正配置検討会議の中で議論いただくことになります。

(保護者 1 0)

分かりました。ありがとうございます。いろいろと言いましたけども御検討いただけたらと思います。

(保護者 1 4)

名前の件ですけどね、桃谷中学になるときにいきさつ聞いたんですけども、こういう説明会、かなり揉めたというふうには話聞きます。ほんで勝山という、この土地やのに、な

ぜ桃谷になるんやとかいろいろあったと思いますし、いろんなところでほんまに勝山という地名のある学校というのが、もうここなくなったらもうなくなりますよね。だったら、やっぱり文化であるとか、そういったものも全てなくなるし、何か全て先ほどから出てくるように途切れてしまう。いろんなところでほんまにそんなも含めて、一部の声の大きい人の意見で全て通らんようにだけしてもらいたいと思いますわ。

こういう会、別に我々意見、声大きくはないですけども、実際何かやっぱり地域の変な声であるとかね、付度して生野区役所がやってるんちゃうかなってところ何個か薄々あるとこあるんですよね。薄々ね、結構。だから、そういったところも踏まえて、声大きい人の意見聞くんじゃなく、やっぱり細かな意見、それこそやっぱりね、ボリュームゾーンじゃない人の意見ほんまに聞いてもらえますか。それがちょっとね、桃谷中学の統廃合の後の話聞いたときもね、いろんなこと思うたとかやし。あのときも我々知らなかったな、やし。いろんなこと知らなかったなというものもあるのでね。ほんまにそない思いますわ。いろいろと言いたいことはめちゃくちゃありますけども、このぐらいにしときます。

(保護者 7)

説明会は、こういう形のものは今回でおしまいと聞きましたけど。その後で、学校推薦の方、地域の推薦の方と皆さんと話し合い、それをちょっと公開でできませんか。公開で。学校推薦の方のPTAの会長とか、あれやったら高学年の方が多し、下の学年の方、1年とか2年の方は対象になるんで、少ないと思います。だから一遍、何も悪いことじゃなかったら、公開でしたらどないですか。こういう説明会は今日でおしまい、何か会議をするときは公開で勝山地区、東桃谷地区、西生野地区、こう皆集まると、学校の推薦の方、地域の連合ですか。その方が集まるいうて、会議する言うてましたね、説明会。それ、私らでも参加できるようにしたらどないですか。ほんだらみんな、ある程度どんな進み方になっているか分かるでしょう。今日これで終わりやったら、もうほとんど分からんようになってまいます。

皆さんもしんどいと思いますよ。条例で縛られて、心の中では「これは反対やな」と思っても口に出されんのは分かります。そやけど、公開討論いうのは全部やってるんで、一応誰が代表か私らも分かりません。やっぱりそれはみんな当然の権利があるんで、それだけはっきり日にちと時間とか言うて、やってください。

いかがですか、皆さん。そのときに参加できませんか。どなたがどういう意見を持っているというのは、やっぱり地域愛を持って、それは反対と言う方もおられます。賛成と言う方もおられる。メリットもあれば、デメリットもある。いろいろ考えたらこれは仕方ないなという方もおられるか分からんけども、我々もそういう状況をやっぱり聞きたいんで、会議の流れを。そういうのはどないですか。その案を、もうこれで終わりやって、案ですね、これ。案について、今日の説明会である程度の、もう基礎はできてると思うんで

すけども、作文は全部できてると思うんですけども、やっぱり我々もこれ、もう23時20分ですか、この時計で。ここまで一応聞いていたんで、これで終わりやったら、何や、何やということになりますよ。皆さんも心の中で思ってるはずですよ。次どういう形になるか、公に貼り紙、分かるようにしてください。何月何日、こういうので、公開討論をしますということで、お願いしたいんです。

(区役所1)

はい。ありがとうございます。学校適正配置検討会議、これは全てオープンでやります。委員さんとしては、先ほど申しあげました学校から推薦いただく保護者の方と、地域、正確には地域活動協議会、こちらでいうとまちづくり協議会から推薦いただいた方をメンバーとしてやります。東桃谷と勝山と。未来学園のほうにつきましては、随時情報を提供していくという話を今していますので、会議にはこの勝山と東桃谷の両地域の方で考えていますけども。それは事前に開催する際には、委員の方だけじゃなくて、一応地域の掲示板に御案内を貼らせていただいたり、回覧をお願いしたりという形をしっかりと取らせていただきます。ただ全てオープン、傍聴ありでさせていただく予定ですので、よろしくをお願いします。

(保護者7)

大体いつ頃を考えてるんですか。

(区役所1)

この計画を、教育委員会の承認が得られれば、そこから学校と地域に推薦の依頼をさせていただきます。そこでメンバーを推薦いただいて、そこから会議の開催という段取りになりますので、早くても秋ぐらいではないかなと思っております。

(保護者7)

分かりました。

(保護者6)

皆さんこの時間ね、11時回っているんですよ。私は最後に言わせていただきたいのは、うちの息子は3人とも勝山小学校を出させていただいて、本当に社会に羽ばたいております。勝山小学校がなくなるのは本当に寂しいです。ただ、いろいろ意見も聞かせていただいて、皆さんの思いもすごく分かりましたけれども、せめて勝山小学校という、勝山という名前を私は残していただきたいというのが最後の、もし駄目ならこれが統合になるんだったら、なぜかというたら、これ、勝山高校も勝山中学もなくなったんですよ、名前が。それで勝山ってすごい歴史のある名前なんですよ、これは皆さんも御存じのよ

うに。大阪夏の陣かな、冬の陣かどっちか忘れたけど。そういうところ、由緒ある勝山公園のあるところなんです、この地域は。本当に伝統のあるところなので、せめて。だったら私は小学校の勝山を残していただきたいと。それだけをお願いして、今日は一旦話を聞かせていただいて皆さんのすごい思いも分かりました。地域愛も、生野区ってすごいなと感動しました。だからそういう意味で、とにかくそれを残していただきたい。

その後に、ここは何をするかというのを私、今日聞きにきたんですけど、高校とか、学校が来る場合もあると聞いたんですよ。高校、どこの高校かはっきり分からないですけども。それだったら学校というのが残るわけですよ。だからその文化的にも、その今さっきおっしゃったように、学校があるということだけでその地域の格が上がるというか、若い人も来るという可能性が出てくるので、その辺も御検討いただいて、よろしく願いしたいと思います。

(区役所 2)

御意見、ありがとうございます。

事業者の選定に当たりましては、他の校区のことを申しますと、生野小学校の跡はインターナショナルスクールが来ておりますので、林寺小学校の跡にもインターナショナルスクール、生野南小学校の跡は専門学校等やっておられる学校法人が来られています。くしくも3校とも学校関係というところが、新設されたということでございます。この勝山小学校の跡につきましても、そういった地域の方々がどのようなものを望まれているか、そういったところもしっかりお聞きしながら、こういった条件をつければこういうところが来るのかなとか、というようなお話もさせていただいて、計画のほうをまとめていきたいと思っております。学校が来てほしいという声が多ければ、そちらの方向で条件をつけていくというようなところだと思います。よろしく申し上げます。

(区役所 1)

すみません。ちょっと長時間になって申し訳ないです。

あと、今日YouTubeを御覧いただいて、Googleフォームで質問いただいている方の御意見を少し。この間、やり取りさせていただいていることと同趣旨のことは、少し省かせていただいて御紹介させていただきます。

「この再編計画案のとおりになった場合、統合の日時までは統合前の学校に入学するということが合ってますでしょうか」ということで、そのとおりです。ただ、「統合が決定しているのであれば、統合先の学校へ初めから入学するという措置はあるのでしょうか」という御質問を頂いています。これにつきましては、今学校選択制の仕組みがございます。それと、別でその統合が決まっている場合は、指定校変更という仕組み、これは学校選択制と言いは違いますけどもほとんど一緒です。統合先の学校を選択して入学するということは可能となっております。

そういった御意見と、あと「途中で廃校になるのであれば、なぜ新入生を入学させるのか」といった御質問を頂いております。これにつきましては、教育委員会のほうで議論が過去になされております。教育委員会のほうでは学校のいろんな意見を聞いて議論されているというふうに記憶があるんですけども。学年で途中で入学していかない、高校の統廃合といいますか、高校を閉校する場合にそういう形がよく取られているんですけども。小学校でもそういうのは教育委員会で議論されたことがあります。ただそうになっていくと、学校としての人数がどんどん減っていく。学年がなくなっていくわけですけども、そうしたら教員、教職員の数がより一層減る。そうすると学校の規模、学級数に関係なく校務分掌ということで、学校の先生のいろんな仕事があります。その1人当たりの負担が増えていくということで、学校運営上の負担が増えるということで、そういった手法は好ましくないんじゃないかという議論があったことを紹介させていただきます。

あとは子育てしやすいまちづくりに対する御意見ですとか、自分のこの統廃合に関して、条例の一言で終わらせるのではなくて、「自分の家族・身内であったら」という考えで進めてほしいといった御意見を頂戴しております。

一応御紹介させていただきました。